

特218

340

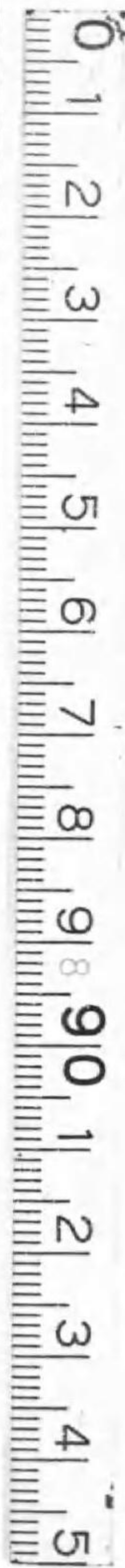
三田定則教授述

法醫學 (完)

昭和九年度

東京帝國大學講義

行發社明啓



始



特218
340



醫學
(完)



法醫學 目次

第一章 空 息

第一節 總 論

第二節 重ナル窒息死

第二章 溺 死

第三章 火傷論

第四章 凍 死

第五章 飢 餓 死

第六章 創傷論

第一節 創 傷

第二節 死因ト創傷トノ關係

第七章 血液ノ検査

第八章 血液ノ型

一 一
一 一
一 九
一 六
一 九
二 四
二 六
二 九
二 九
三 八
四 一
四 八

第九章	初生児殺害	五八
第十章	妊娠論	七四
第十一章	性	七六
第十二章	性ノ決定	七八

目次 (終)



學

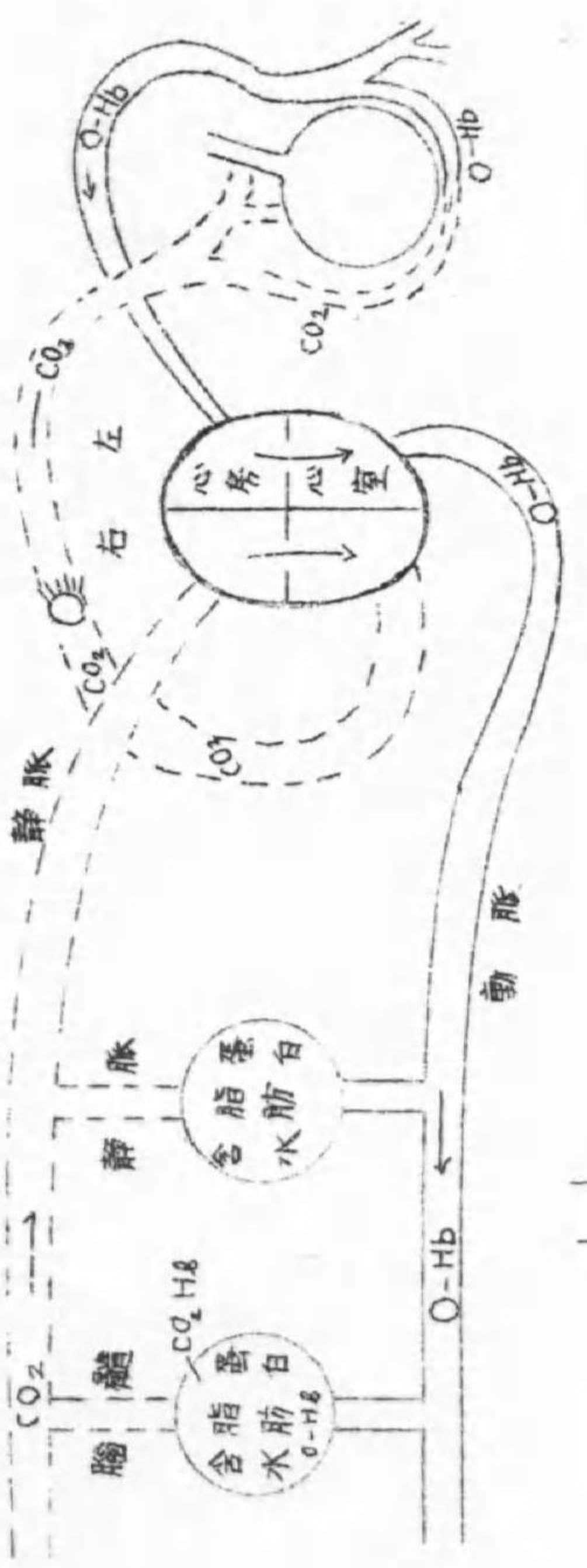
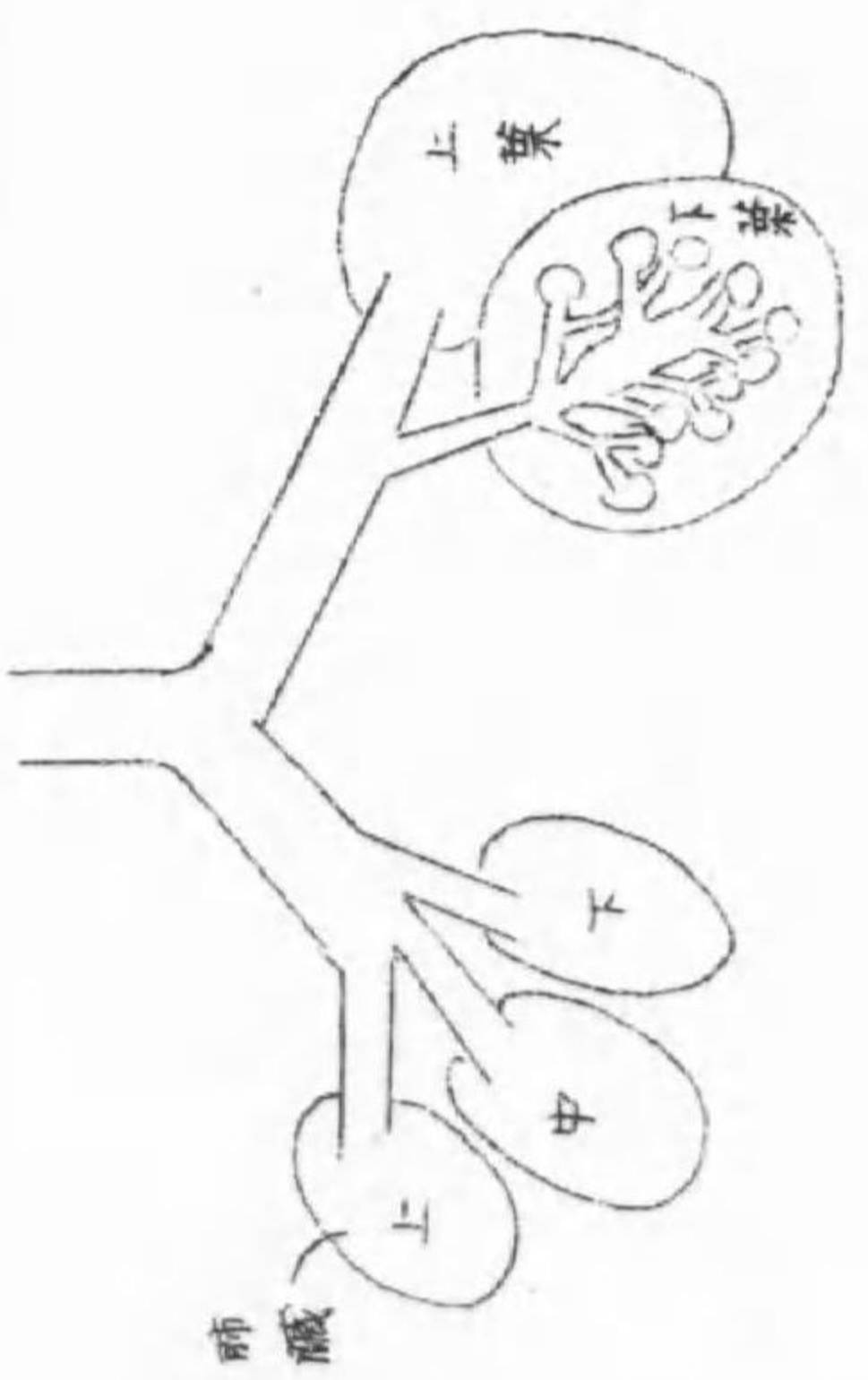
三田定則教授述

第一章 窒息 一節 總論

生ト云フコトハ之ヲ医学上ヨリ云ヘバ身体ノ中デ物ガ燃燒シテ耳ルコトデアアル。人体ハ宛モ機關車ノ如キモノデアアル。コノ燃燒ガ止マルコトガ死デアアル。

何ガ燃燒スルノカ、蛋白質、脂肪、含水炭素
 燃燒ニハ^(酸素)〇₂ガ必要デアアル。ソシテ^(炭素)〇₂ヲ發生シ外ヘ出ス。

膨レ = 縮ム
 肺胞中ハハ 肺胞中ニ
 一 一 一 一



血管ノ中ハ血液ガ流レテキル。血液中ニハ血色素(ヘモグロビン)Hbト云フモノガアル。之ハ容易クOニ結び付イテ酸化ヘモグロビンO-Hbトナリ、又容易クOヲ放ツテ、還元ヘモグロビントナル。

酸化ヘモグロビンハ鮮赤色、還元ヘモグロビンハ暗赤色。

吾々ハ空気を吸入スル、肺胞ノ中ニ於ケルCO₂ノ圧ハ、非常ニ低ク、静脈中、CO₂ノ圧ハ高イ、ソコデ血液ハ血管カラモレルコトハナイガCO₂ノガスハ壁ヲ通シテ肺胞ノ中ニ出テ来ル、ソレニ反シOハ肺胞ノ中デハ圧ガ高ク、血管ノ中デハ圧ガ低イカラ肺胞中ノOハ血管ノ中ニ入ルストHbハOト結合シテO-Hbトナル。之ガ心臓ヲ通ジテ、脳髓、筋肉ニ行キOヲ供給シテ燃焼ガ行ハレル。呼吸ヲ止メルト死ス。

窒息ノ症状(生前症状)

(1) 鼻口圧迫 暫時精神明瞭

強直性痙攣は、人等不省

(2) 呼吸運動ノ復旧 (呼吸運動ニ非ズ)

(3) シンドローム時ニ痙攣

鼻口ヲ抑ヘタ場合モ此ノ時ニ至ルト人等不省トナレ心臓ダケ運動シテナル。人ニヨリ長短異ル。

(4) 仮死

(5) 終末呼吸運動

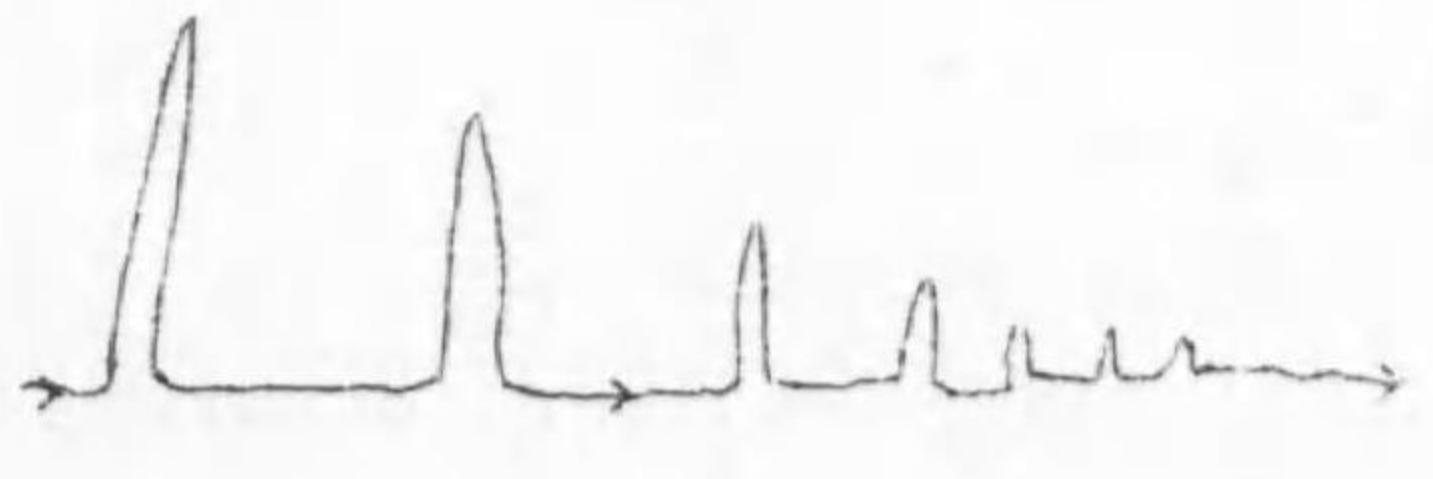
鼻翼及口ヲ一遍ダケ開キ暫ラク休ンデ、又一遍

又開キ繰返ス。

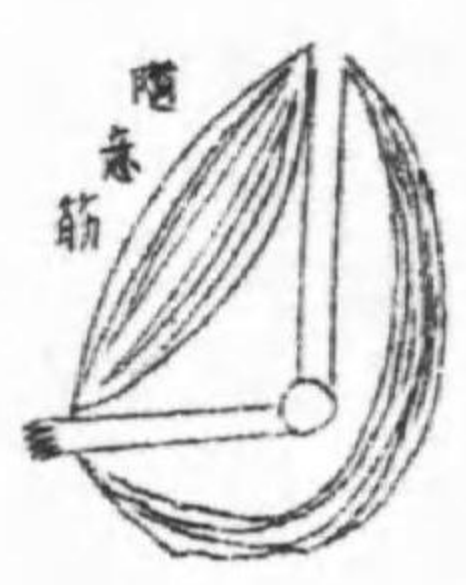
強サガ弱ツテ来ル、間隔ガ短カクナリ

(6) 遂ニ真死 (ハ下回参照)

痙攣
吾々ノ臓器ニハ夫々機軸ガアル。筋肉ノ機能ハ短カク



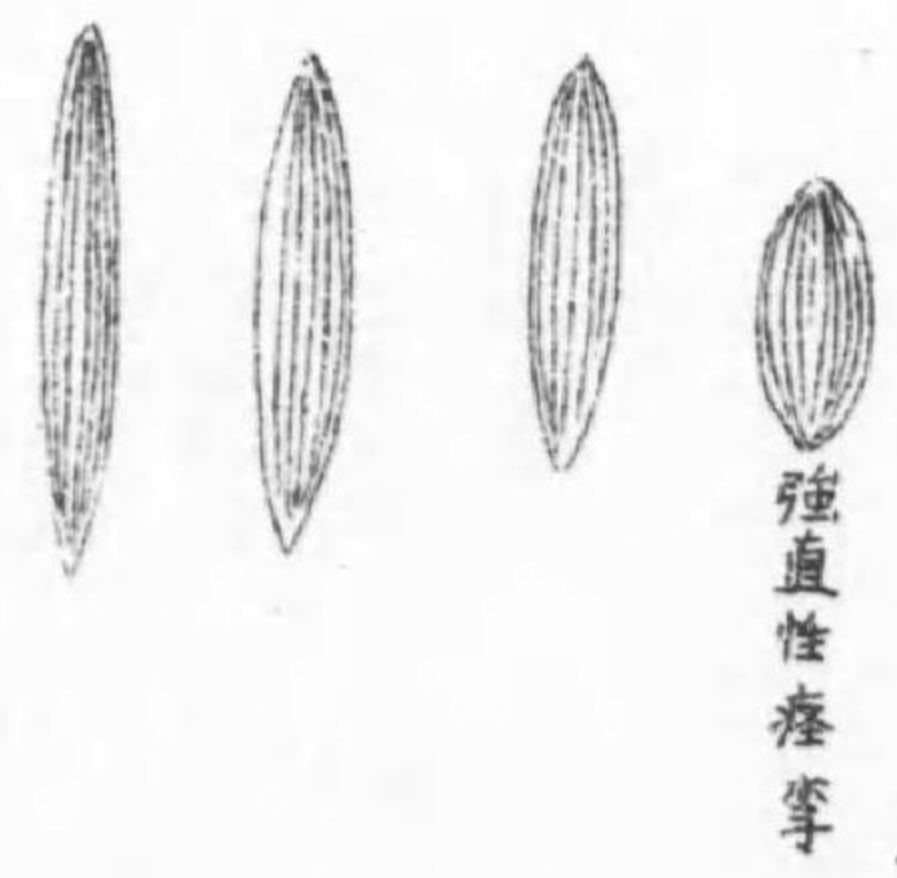
ナルコトデアアル。筋肉ニハ隨意筋ト不随意筋トガアル



収縮スルニハ努力ガイル
伸ビルニハ努力イラス

或時ニハ隨意筋ヲ動スマイトシテモ動クコトガアル。意思ニ逆ツテ収縮スル、之ガ痙攣デア

ル。
痙攣ニハ二種アル、筋肉ヲ針デツクト収縮スルガ次第ニ刺戟ヲ強クシテユクト、ソレ以上収縮シナイト云フ所ニ至ル、之レガ強直性痙攣デア

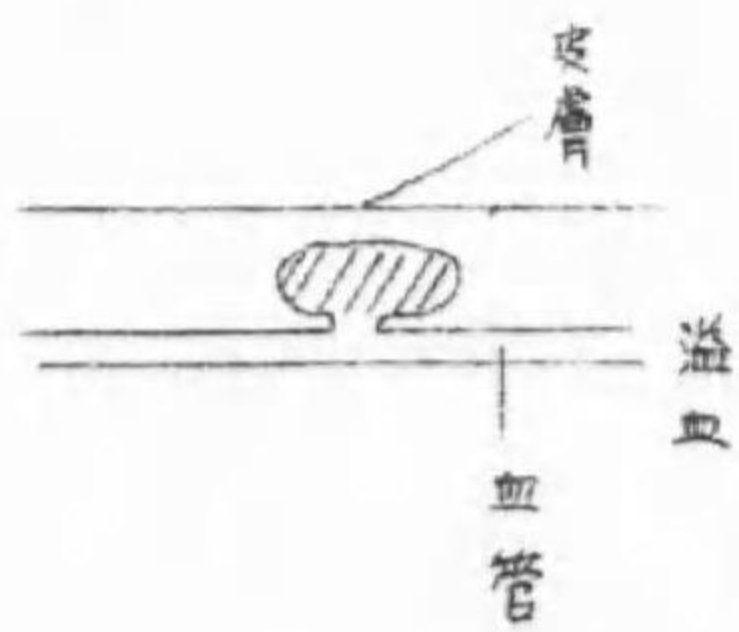
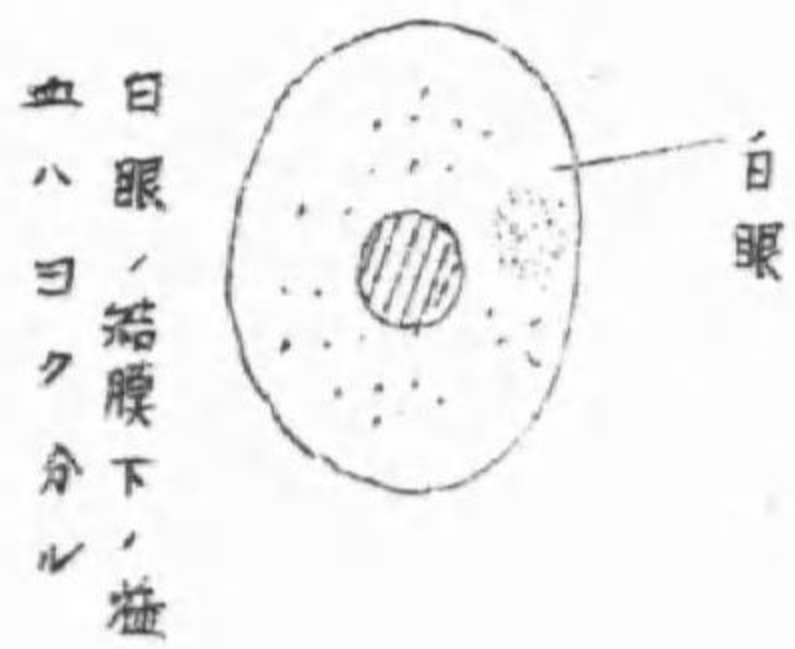


症状 (死後)

解剖的所見

窒息死ニハ色々ナ方法ガアルガ、ソレ等ニ通有テ症状トシテハ
外部的所見

結膜下ノ溢血点、時トシテハ出血斑



(2)

内部所見

(a) 血液流動性

心臓大血管中ノ血液ガ流動性デアル

(附)

普通ノ死体デアルト血液ハ赤イ寒天ノ様ニ凝固スル。所ガ健康
ナ人ガ急死スルト血液ハ流動性デアル(窒息ハ急死ノ一デアル)
血液ハ生キテキルトキハ血管中デハ必ず流動シテキルガ、外ハ
出ルト必ず凝固スル。(時ニハ凝固シナイコトガアル)血液中ニ
ハ纖維素原(液性ノ蛋白)ガアルガ、外ハ出ルト固形ノ纖維素ト
ナル。急死サセルト精神ハ直チニ死又ガ、身体ノ組織、臓器ハ尚
生キテキル。健全ナトキハ集積作用ト分解作用ニヨリ新陳代謝ヲ
シテキルガ、急死サセルト集積作用ハ出来ナイガ、分解作用ノミ
持続スル。此ノツメニ血液中ノ纖維素ガナクナツテシマウ。解剖
ハ大抵二十四時後ニ行フカラソノ間ニ纖維素原ナクナリ、従ツテ
心臓、大血管中ノ血液ハ流動シテキル。

第二節 重ナル窒息死

A 縊死 (屍体)

直十ニ人半不指、必ずシモ高イ所カラ
吊ル必要ハナイ。

窒息死ノ変化ハ凡テ表ハレル。

縊死ニ特色ナル変化

外部

縊溝

(1) 走り方ニハニツアル

(a) 定型的ノ走り方

(b) 非定型的ノ走り方

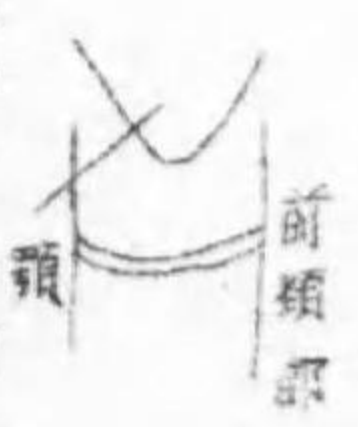
結節係蹄ニ後部ノ中央線以外ノ



有鬚部ニ活エテナクナル



前頸部

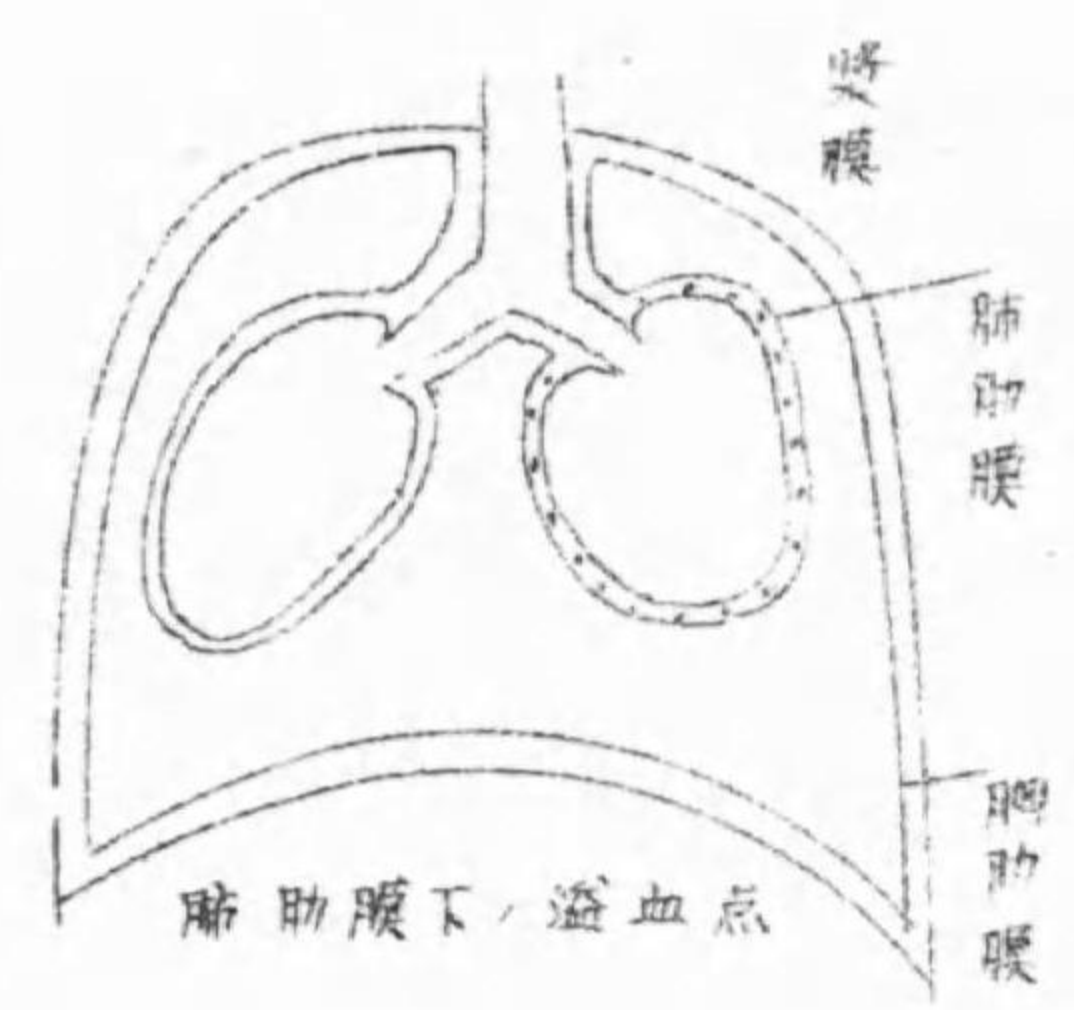


後頸部

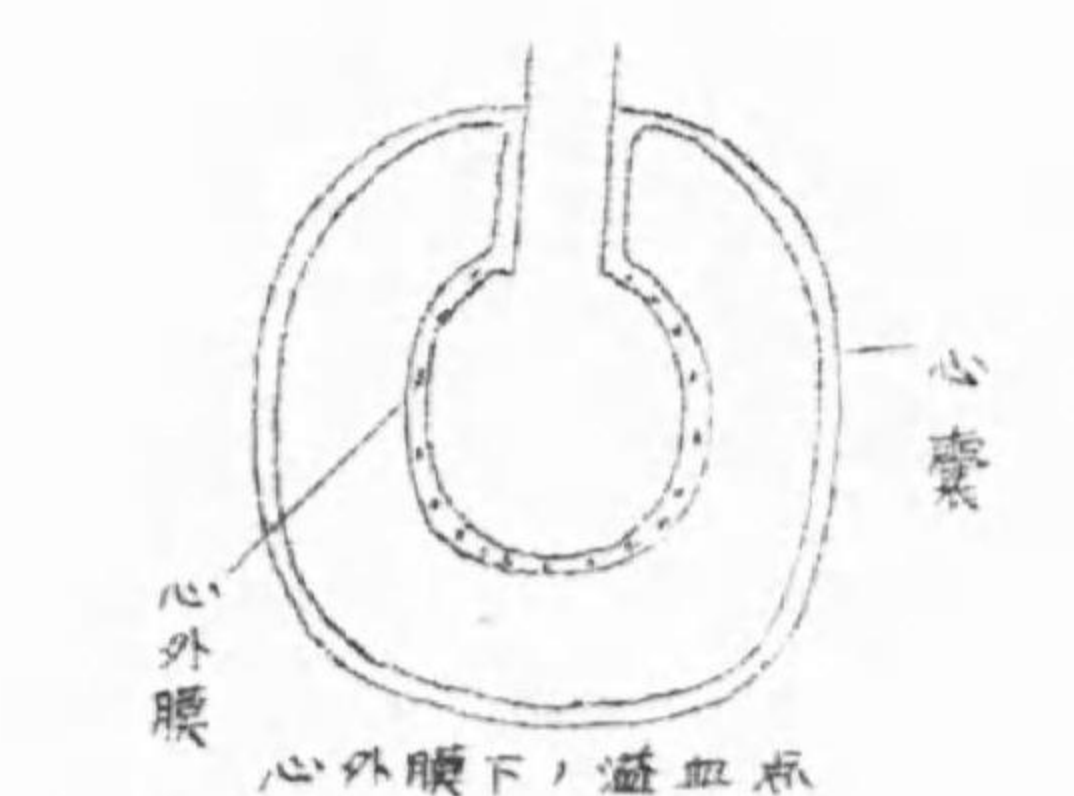
向被係蹄ノ場合及結節係蹄ノ結節
が紋部ノ中央線ニアツタトキ

凡

(b) 漿膜下、粘膜下ノ溢血点



粘膜、喉頭、腸、大腸曲



(c) 内臓諸器ノ充血

肝臓、肺臓、腎臓、等ハ濃暗血色ヲ呈ス
是等ヲ取出シテ切ツテ見ルト断面カラジクくト血液ガ流レ
ル。(充血シテルマ舌マハニ三回経験シナイトヨク分ラヌ)

任意ノ所ニアツタ場合、ソノ溝ハ結節ト反対ノ所カラ始マリ、結節ニ向ツテ斜ニ上ツテ行ク、結節ニ相当シタ所デ消エナクナル。

(2) 硬サ、色

用ヒク紐繩ノ性質ニヨツテチガフ。柔ケレバ柔イホド普通ノ皮膚ノ色ニ近ツクガ、硬ケレバ硬イホド褐色デ、フレテミルト鞣皮ノマウニ硬イ。

(3) 深サ

定型ノ走方ノ場合ハ前頸部デハ深ク側部デハ段々浅クナリ、中部デ消エル。非定型ノ走方デ結節ノ反対側ガ最モ深ク段々浅クナリ結節ニ相当シタ所デチタクナル。

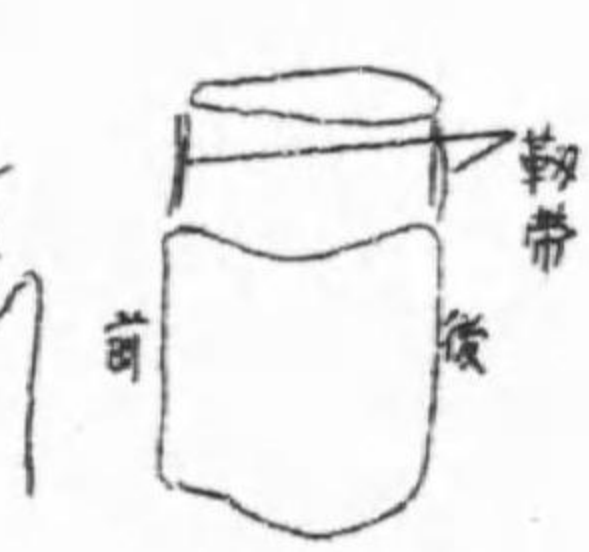
内部

切開クト

(1) 皮下出血ナシ。



(2) 喉頭諸骨ノ骨折



骨折ノ起ツタ所ニハ出血ガアル

(3) 筋肉ノ破裂



筋肉纖維ノ裂ツカバ切レルソコニ出血スル。

(4) 頸動脈ノ破裂

モシ硬イモノデ溢死スルト頸動脈ガサケテ出血スル、常ニ起ルワ

テデハ...

頰動脈ヲ閉カト
内膜(黄色スベ
スバシタモノ)

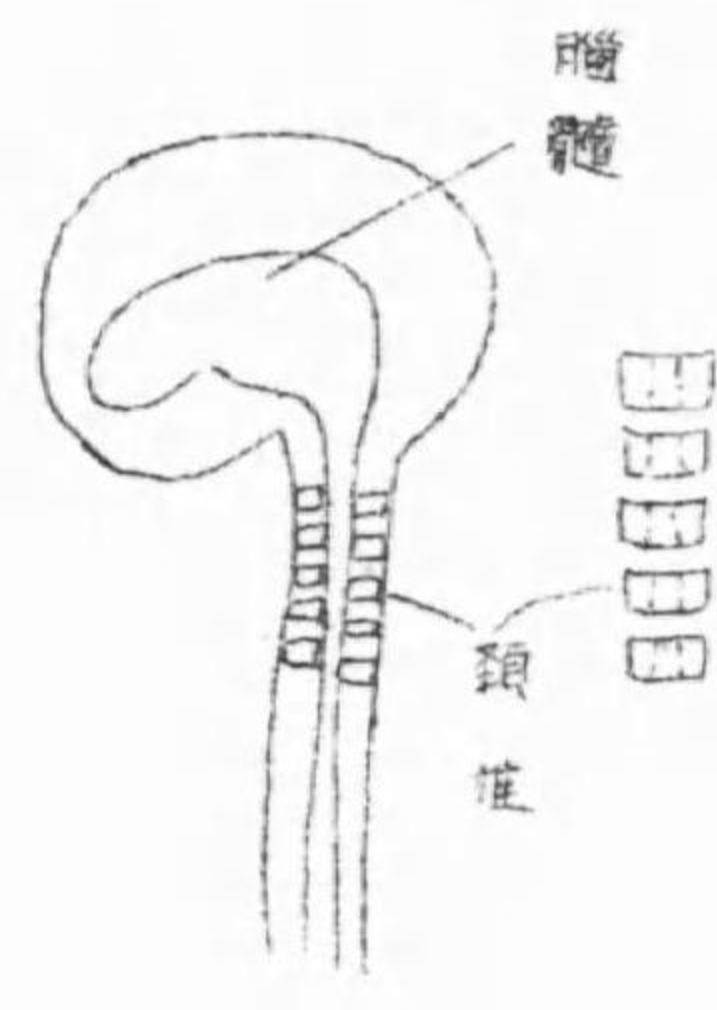
(5) 経維ノ骨折 脱臼



帯ニ起ルワケデハナイ

頰維セツ

体重ヲ充分ニ働カシテ吊ルト



B 絞殺

直チニ人事不省ニ陥ル、他殺ガ多イ

他殺バカリテハナク自殺シテキルコトモアル。(一結デ絞メテナル) 窒息ニ通有ナル変化ハ備ハル。

独特ノ変化

絞溝ハ縦溝ト同ジデアアルガ左ノ二点ニ異ル

走方 定型的デアラウト不定型的デアラウト縊溝ノ場合ハ夫

リ方ハ斜デアアルガ絞溝ノ場合ハ水平ニ走ル。

溝ノ深サ、縊溝ハ前部深ク、左右ニ浅クナリ頂部デハ消エル。

絞溝ハ全周囲殆ンド同ジ深サ、殊ニ結節ノトコロガ深ク喰ヒ込ム。

首ノ皮ヲ肉イテ内部ヲ検査スルト縊死ノ場合ト大抵同ジ。

C. 扼殺

手デ首ヲ絞メテ放スト一時人事不省ニ陥ルガ又覚醒シテ来ルカ

ラ少時首ヲ扼ヘテナケレバナラヌ

窒息ニ通有ナ変化ハ備ハル

独特ナルモノ

頸部

右手デシメタトキ

諸手デシメタトキ



被害者ノ右側ニ加害者ノ爪ニヨル表皮剝奪、拇指ノ指先ヲ压迫サ
レ皮下出血スル、左側ハ四ツノ表皮剝脱
創ハ手ノ大サニヨリ表ハレル所ガ少シ異ル
他殺ニ限ル、自殺ハ出来ヌ。

D 其他窒息ニハ色々アル

(1) 咽頭ニ異物ヲ押込シテ死ニ到ル

直チニ人争不省ニテラマカラ咽頭ニ異物ヲ押込シテ殺セルノハ
赤坊バカリデアアル、大人デハ出来ヌ。

窒息ニ通有テ変化ガアルカラ窒息死デアアルコトガ分ル。

(ロ) 鼻口ヲ押ヘテ窒息サセル

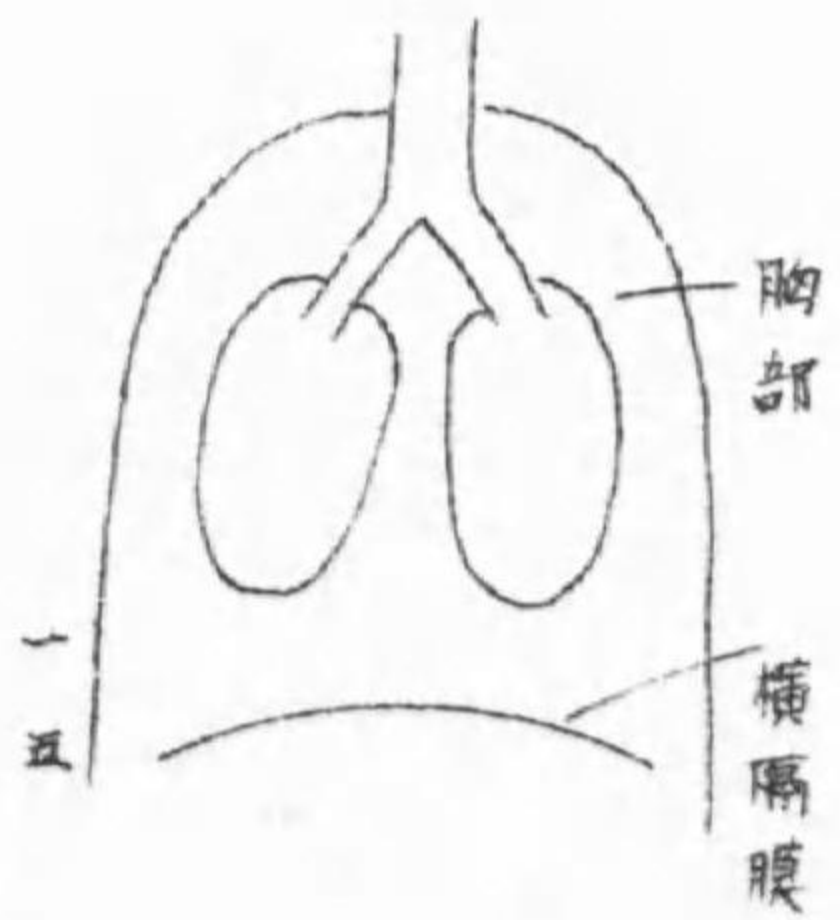
暫ク精神明瞭、大人デハ抵抗スルカラ、赤坊ダケニシカデキヌ、
窒息ニ通有テ変化アリ

鼻口ノ周囲ノ表皮剝脱、皮下出血
或ル場合ハ手デナク他ノ物、軟イ着物、フトン、ヌハ濡レタ浅
草紙等デアアル。

屍体ヲ検査スルト窒息デ死シタカハ屍体ノ検査ダケデハ分ラヌ。

(ハ) 胸部压迫

呼吸ハ胸廓及ビ横隔膜ガ外
方ニ擴ガルコトニヨリ行フ
肺臓ハ何時モ受身デアアル。
故ニ胸廓ヲ压迫スルト呼吸
が出来ナクナリ窒息ス



窒息ニ通有テ変化アリ。
 胸ヲ見ルトカヲ加ヘタ所ニ皮下出血、胸部筋肉間出血アリ。

第二章 溺死

マハリ窒息デアルガ特ニ溺死ニツイテ述ブ
 窒息ニ通有テ変化ガ表ハレル

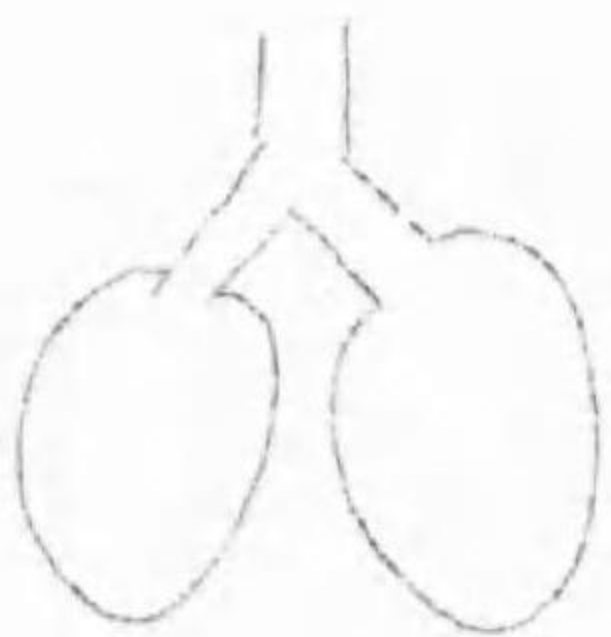
溺死ニ特有テ変化トシテハ、呼吸道及ヒ胃腸
 ニ変化ヲ起ス。

呼吸道ノ変化

溺死スルト水ヲ吸入スルカラ泡ノ混ツタ溺水

ガ気管肺臓ニアル。若シモ、溺死シタ所ガ泥、砂、藻、Plankton 等
 ガアルトソレ等モ這入ツテキル。

普通ノ肺臓ハ握ルトツブレルガ溺死ノ場合ハ膨大シ握ルト固イ。

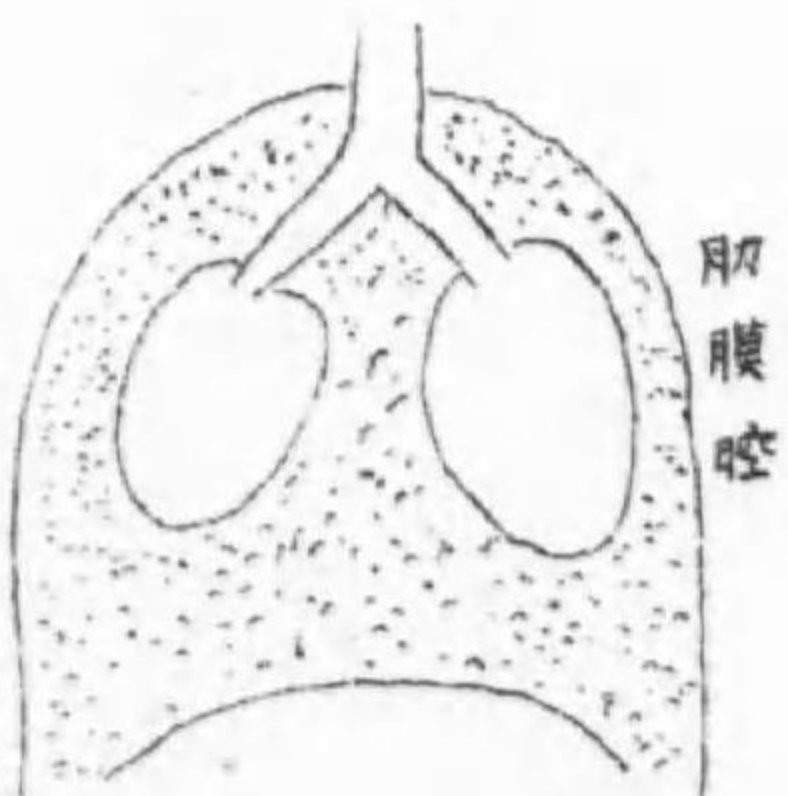


藻 Plankton 等

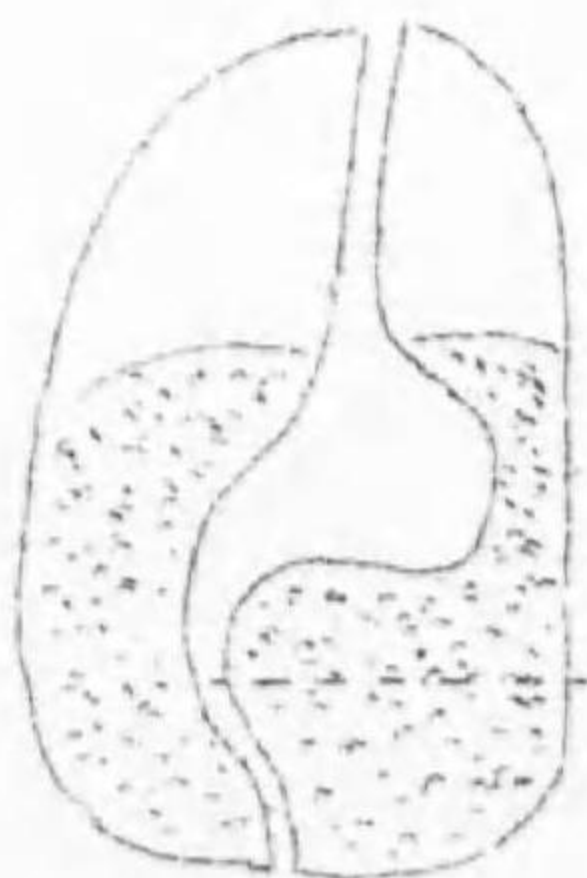
肺臓ヲ断ルト断面カラ溺水ガ流出スル
 水ノ中ニアル間ハ腐敗ハ進マヌガ外ニ出ス
 ト急速ニ腐ル。腐敗ガ進ムト肺臓カラ溺水
 ガ透過作用ニヨリ胸膜腔中ニ赤イ水トシテ
 タマル。病的ノ水ト誤マラヌマウニスルコ
 トガ必要デアル。

胃腸ノ変化

胃腸ノ方ニ水ヲ嚥下スル、十二指腸送水
 ガ進ム。之マデニ死ヌカラソレ以上進マヌ
 泥水デアルト溺死デアルコトガスグ分ルカ
 キレイナ水ガ僅カノ場合ハ溺水デアルカ、
 飲料水デアルカ分ラヌコトガアル。腐敗ガ
 進ムト腹膜腔ニ赤イ水トナツテタマル。病
 的ノモノト誤ラヌコトガ必要ナリ。



胸膜腔



十二指腸

溺死ハ必ズシモ多クノ水デナケレバ死ネ又トハ限ラヌ
溺死ニツキ注意スベキ諸事項

(1) 少量水デモ死ネル

(2) 生キタ人間ガ溺死シタノカ、死ンダ人間ヲ水ノ中ニ投込ンダノカ、溺死デアルト窒息ニ通有ナ変化及溺死ノ変化アリ、他ニ死因ナシ。死体ヲ投ジタノデアルト溺死ニ通有ナ変化ナク、他ノ死因ガアル。

(4) 氷点降下ノ度ニヨル鑑別

生キタ人間ガ溺死スルト

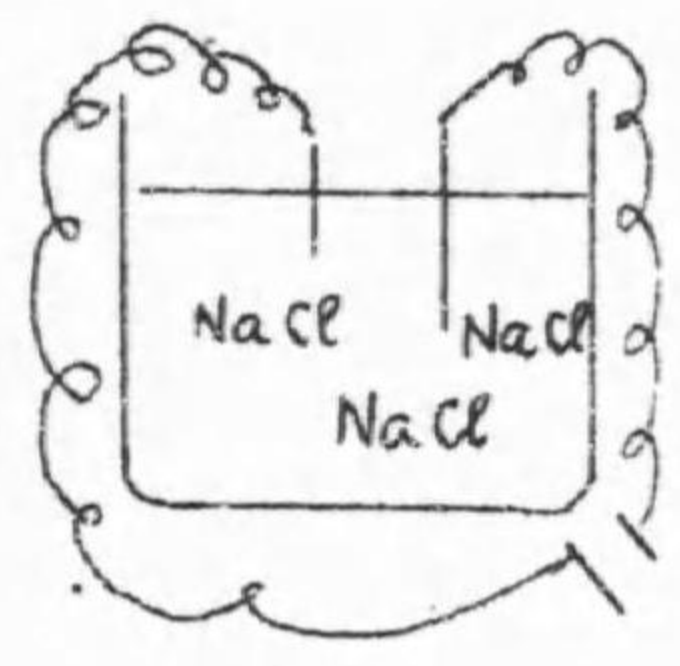
右 -3° 左 -1°

左右ノ心臓ノ血液ヲトツテ氷ラスト、左ノ方ガ氷リマスイ（肺カラ水ヲ吸収シテクルカラ）

屍体ヲ入レタトキハ左右トモ -3° デ氷ル。

(10) 比電氣傳導力ノ差益ニヨル鑑別

死	生
右	左
左	右
同ジ	傳導力強
	弱



(3) 引上ゲテミテモ水モ吸入シテナインシ、窒息ノ症状モナイコトガアル、淋巴胸腺体質、實質性臓器ノ脂肪変性体質ノ人ハ少シノ刺戟デ心臓ノ働キガ止ツテ死ヌ

第三章 火傷論

生前ノ火傷

死後ノ火傷

1. 外部ノ検査

第一度ノ火傷

最も弱イ程度ノ熱ガ働イタトキ

紅斑ヲ出スル
生ギ多入間ニ働イタ時ニノミ出スル。死体ノ表面ニ紅斑ガ見出サレルト生前ノ火傷ナルコトガ分ル。只困ルコトハ死斑ガ出スルト見分ケガツカナイ。屍体ガ腹道ニツツテルト腹胸ニ赤イ斑ガ出スル
生前ハ心臓ノポンプ作用ガアルカラヨイガ死又ト血ガ下ツテ末テ斑ガ出スル。紅斑ガ死斑ト反対ノ側ニアレバ熱ニヨツテ生ジタモノデアルコトガ分ルガ、同シ側ニアルト紅斑ヲ以テ判別スルコトハ出スナイ。故ニ死斑ト反対ノ側ニアルトキニダケコノ鑑別法ハ彼立ツ

第二度ノ火傷

水泡形成

屍体ニ水泡ガアルカ、アリシコトガ分ルト大抵生前ノ火傷ト考ヘテヨロシイ。

実験的ニアマリ死ンデカラ時間カタ、ナイ中ニ上キニマルト小サイナ

ガラ水泡ガ出スル、併シ實際上ハ水泡ガアレバ生前ノ火傷ト看做シテヨイ。

第三度ノ火傷

皮カ鞣皮ノ様ニ硬クナル。伽皮形成

虫眼鏡デ部分ヲ検査スルト血管ノ網が見エル、生前デアルト血管ノ中ヲ血液ガ流通シテナルカラ、ソレニ熱ヲウケルト血管ノ中ニ凝固シタ血液ガ入ッテナル。シカルニ死後ニナルト血管ノ中ニ血液ガナイカラ血管ノ中ハ空虚デアル。

第四度ノ火傷

炭化、灰化シテナル

生前デモ、死後デモ同様ニナルカラ區別デキヌシカシ、實際ニ於テハ色々ナ火傷ガ混ツテ起ル

2 内部ノ検査

(1) 呼吸道ニ炭末ノ証明



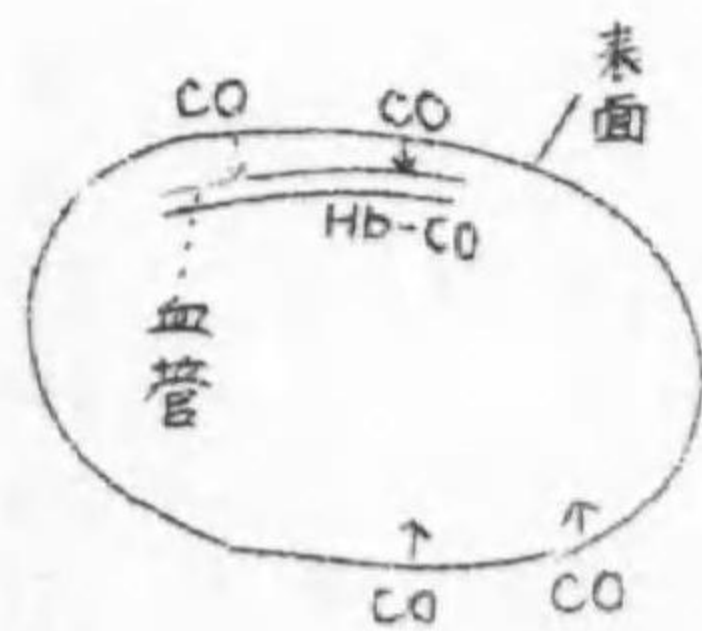
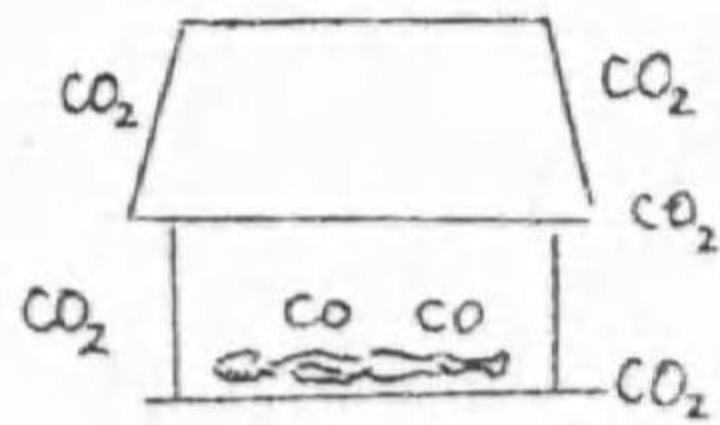
第一度ノ火傷

火葬等で生きた人間が焼死シタトキハ、気管、気管枝ニ煤ヲ吸入シ
ニ為ル。

(2) 一酸化炭素ヘモグロビンノ証明
屍体ノ心臓カラ血液ヲトリ、中ニ一酸化炭素ノ証明ヲ得レバ生前ノ
燒死、然ラザレバ死後ノ火傷デアアル。

附 屍體ハ呼吸中起デアアルガ、之ガ働クジメニハ、刺戟ヲ要スル
即チOガ欠乏シCO₂ガ余剰ニナルト刺戟サレル。クロ、不ル
ム腹睡ヲ下手ニカケルト *Kygel ventilation* ヲ起シ呼吸運
動ガ止ルノハOガ多クナルカラデアアル。

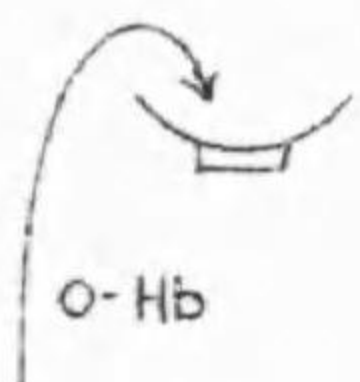
EDハOトハ容易ニ結合シ又容
易ニ離レル
所ガCO₂ト結合スルト離レナイ
Hb-COハOト結合シナイノデO
ヲ供給スルコトガ出来ナクナツ



テ死マ。之レCOガ猛毒ナル所以デアアル。火葬が起ルト家ノ中ハO
ノ供給ガ少クテCOガ出来ル、生キテキルト之ヲ吸収スルワケニナ
ル。然ルニ死ンダ人間デナルト吸入シナイカラ Hb-CO ヲ証明出来
ナイ。然シ屍体ノ表面カラ取ツタ血液ハ Hb-CO ヲ証明スルコトガ
アルガ、深部マデハCOガ到達シナイ。生前デアルト Hb-CO ヲ屍
体ノ全部ニ分配スル。

検出法

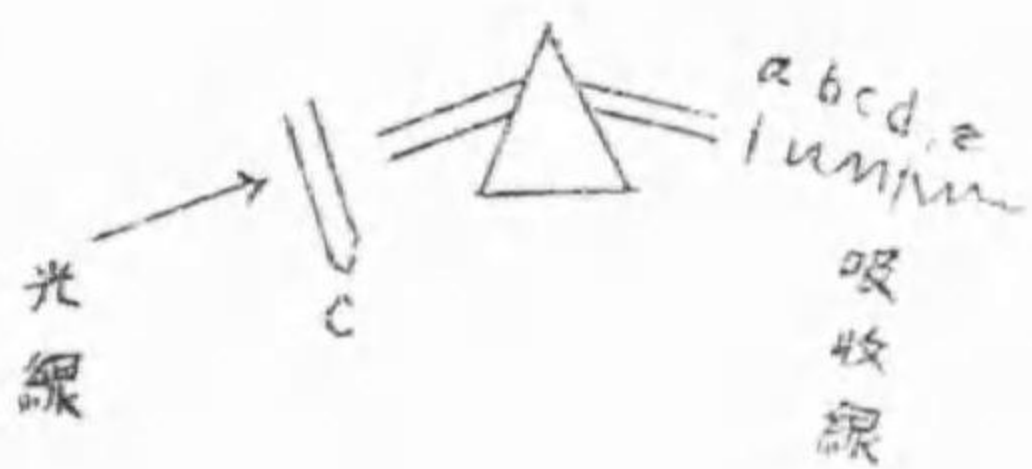
- (1) O-Hb 鮮赤色
CO-Hb 白イ血ニ血液ヲ入レル
Hb ハ汚イ赤色



Tannin 酸ヲ加ハルト O-Hb ハスグ汚イ赤色ニナルガ CO-Hb ハ

何時マデモ鮮赤色

(四) 光像鏡的検査



O-HD 二本吸収線が表ハレル、還元素ヲ
ハレルト、一本ノ幅広キ線トナル。

CO-HD 二本ノ吸収線が表ハレル、酸化
アンモンヲ入レテモ依然トシテ二本ノ吸収
線が見エテナル。

第四章 凍死

凍死ヲ判断スルニハ確實ナ証拠ガナイ。

(一) 冷所カラ屍体ヲ発見シタルコト

(2) 死因トナルベキ変化ガナイカラ、恐ラク凍死デアラウト云フ判断ヲ
下ス。

(3) モシモ死体ノ中ニ *alcohol* ヲ証明スレバ凍死ガ確實性ヲ帯ブ
其他イロワタノ徴候ヲアゲテルガ

死体ガ鮮赤色デアルト云フコトハ、屍体ガ冷所ニアツタト云フ証明ニ
ナル丈デ凍死ノ特色デハナイ。精神ガ死スト形成作用ハ止マルガ分解作
用ダケハ暫時持続スル、ソノタメニハ〇ガ必要、故ニ O-HD ハ HD ト
ナル故、汚イ死斑ガ表ハレル。併シ冷所デハ分解ガオコラヌカラ O-HD
ガ死斑トナツテ表ハレル。

頭蓋骨ノ縫合ノ離開 腦髓中ノ水ガ凍ツテ膨張スルタメ、之モ死体
ガ冷所ニアツタト云フ証明デアル。

酒ヲノムト血管ガ廣ク、血液ノ流通ガヨクナリ、自覚的ニハ熱ヲ感じ
ル、雪ノ中ニ休レルト氣持ガヨイ。体温 38.5°C ノ時分ニ救ハレルト助
カルガ、ソレ以下ニナルト助カラヌ。

第五章 飢餓死

絶対ノ飢餓死、然食ハナイテ死ヌ

絶対ニ物ヲ食ハナイト何ノ位デ死ヌカ、年令ニヨリ異ル。

壮年、老年 一月位

子供ハ早イ、新陳代謝ガ盛ナル故

栄養不全ニヨル衰弱死、食ハセ方ガ少ナイタメ衰弱死スル、法医学的

ニ問題ニナルノハ後者デアル。貫ヒ子紋等

瘦セ衰ヘ、皮下脂肪ガ非常ニ少クナリ、皮膚乾燥、又多ク虐待サレタ

痕跡、ヨク火傷ノアトアリ。

解剖シテミルト、臓器ガ貧血、脂肪ガ減ツテキル。

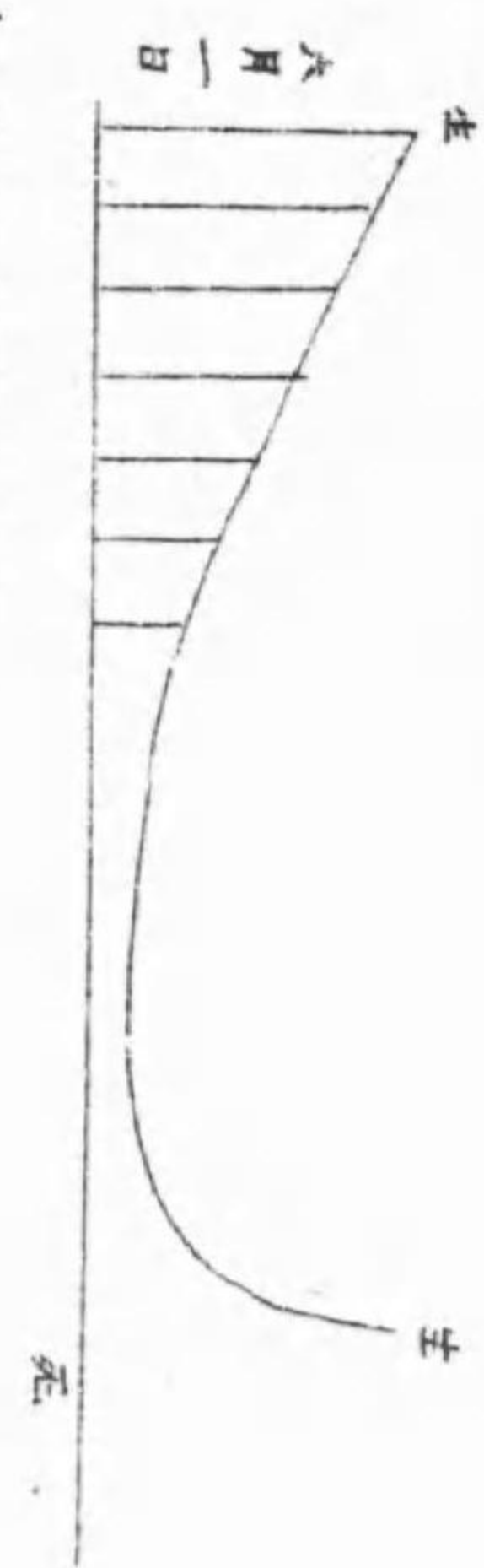
血液ハ濃厚比重重シ、

胃腸ガ細イ、飢餓便ヲ見ル（兎糞ノ如シ）

膀胱ノ中ニ小便ガアルト、アセトンガ入ツテキル。生前ハ呼吸デアセ
トンヲ出スカラ甘ツタルイ臭ガスル。

耐 飢餓死ノ起ル理由

窒素出納平均 私見



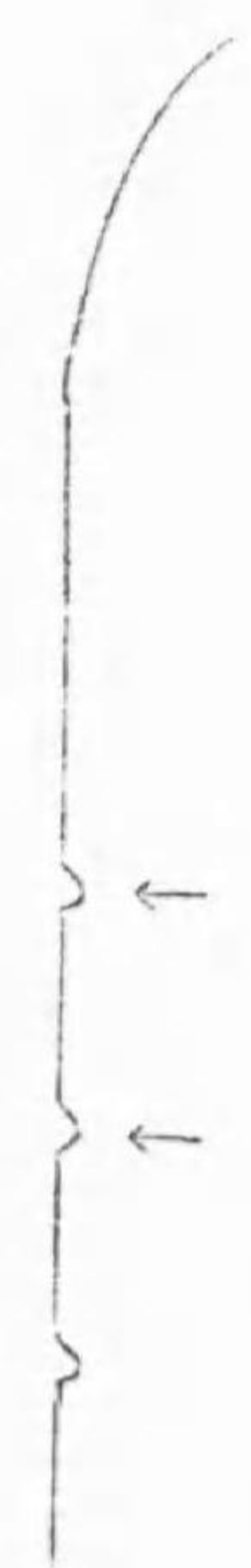
死前窒素排出増進

含水炭素、脂肪ヲ燃燒シテ蛋白質ハ最后マデトツテオク、為ニ窒
素ノ排斥物ハ *Minimum* ニナル、含水炭素脂肪ガナクナルト止ム
ヲ得ズ蛋白質ヲ燃シテ身体ノ運動ヲ維持スル。ソレデ窒素排斥物ガ
多クナル。

ノ、飢餓死シタ屍骸ヲ見ルト、皮下ノ脂肪ハ非常ニ少クナツテキル

ニハ
 概シ全ク無クナラナイデ、モシモ、ソノ人間ガ死ナカッタラハ
 之ヲ燃シタナラバ数日ハ生きアガラヘ得タデアラウト云フ位残ツテ
 ナル。

2. モーツハ *Antitrypsin* ト云テ蛋白ヲ分解スル、蛋白酵素ノ働キ
 弱ナルモノガアル。サテ窒素ノ排出ノ *minimum* ノ状態ガ続イテ



Antitrypsin ヲ注射スルト窒素ノ排出ヲ抑ヘテ又生ツケル
 此ノニツノ事實カラ見ルト身体ノ燃焼物ガナクナ
 ツタカラ死又ト云フ通説ハ疑ハシクナツテ来ル。
 ソコデ私見ヲ述ベレバ
 蛋白質ノ分解物ハ有毒デア
 故ニ飢餓死ハ身体ノ燃焼物ガナクナツタカラ



死又ト云フヨリハ、寧ろ蛋白ノ異常分解ガ起リ、蛋白ノ有害中間分
 解産物ノタメ自家中毒ヲ起シテ死又ノデアラウ。
 今 *Antitrypsin* ヲ注射シテ蛋白酵素ノ働キ抑制スルト中間有毒分
 解物ノ発生ヲ抑制シテ尙數日間生きナガラヘル。

第六章 創傷論 第一節 創傷

- 傷ハ之ヲ四ツニ分ケル
- 鈍器ニ依ル創傷 岩ノドスベテノモノ
 - 銳器 刀
 - 火器 槍
 - 銃器 鉄砲
 - 鈍器ニ依ル創傷

(a) 表皮剥脱

- (1) 表皮剥脱ノ存在ノ具合ニヨリ、被害者ト加害者トノ位置ノ關係分ル(例ヘバ、胸ツタ所カ、ニケル所ヲ毆ツタカ)
- (2) 表皮剥脱ノ形カラ用器ノ大体ノ見当ガツク。(細長イモノカ、太イモノカ)
- (3) 表皮剥脱ノ数ニヨリ加害ノ度数ガ分ル、

(b) 皮下出血

屍体ニ皮下出血ガアルト、生前鈍力ガ働イタコトガ分ル。
皮下出血ヲ判断スルニ注意スベキコトハ

- (1) 紫赤色変化ノ外ニ
- (2) ナイフデ切ツテミルト、凝血ガアルコトヲ証明シナクテハイカス、
縫死ノトキハ繩素ノカ、ルタ所ハ蒼白デアアル(縁ハ出血)

(c) 創傷

鈍器ニ依ツタ創デモ、向脛、頭部等ニ動タト切創ニ似タ創ガ出来ル

カ、ル場合デモ創洞ノ外ニ彈力纖維ガカツテキル、消息子デサゲル
ト引カ、ル。



創縁ガ不整



創壁不整

創洞ニ彈力纖維ガ切レナイデ橋ノメウニ
カ、ツテキル。

d 腦震盪

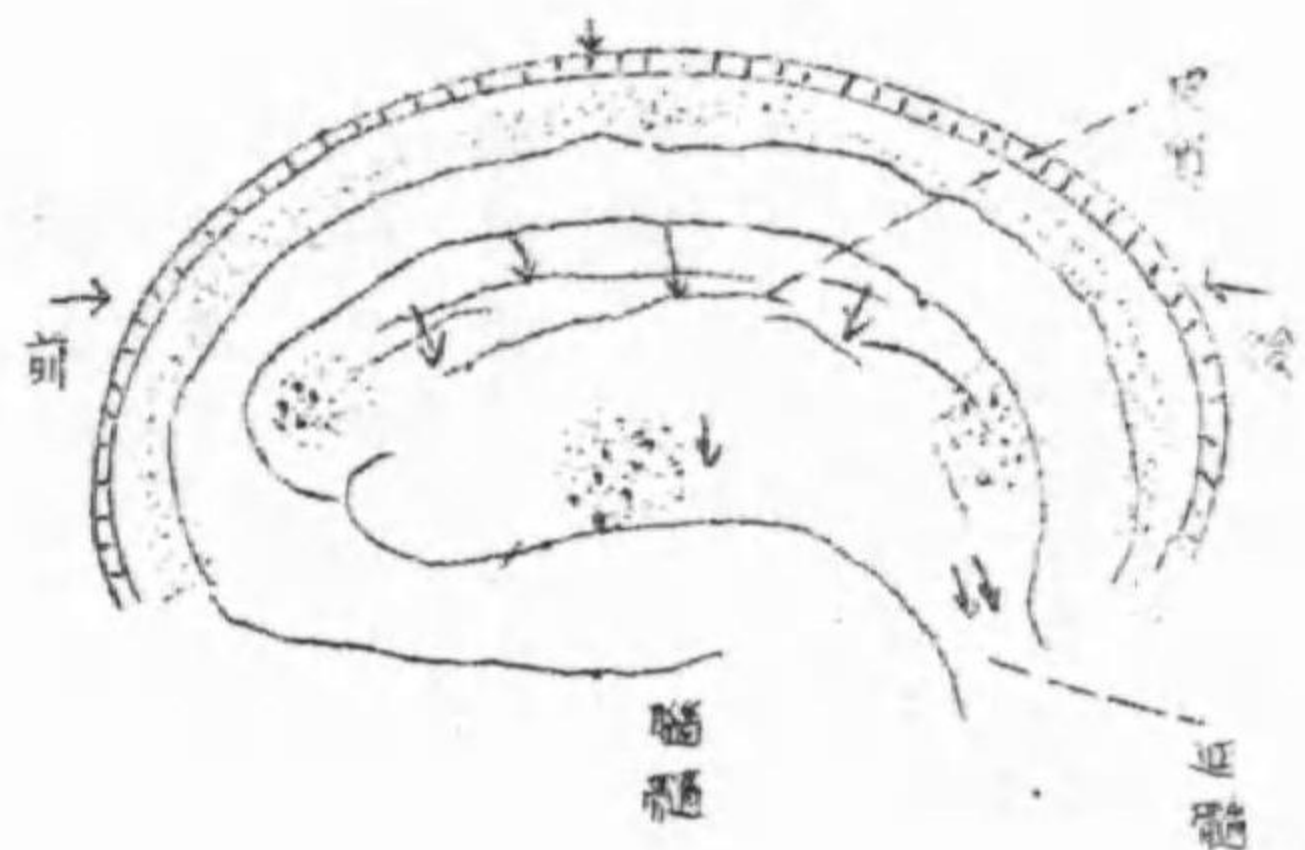
腦挫傷

腦出血

腦震盪ヲオコスト氣ガ速クナリ、反射機能ガ鈍クナル。嘔吐スル、
脈膊ガオソクナル、呼吸ガ少イ、

コノマ、死ニ移ルコトモアリ、何等カノ欠陥ヲ殘シテ巻ル。

解剖シテミルト、腦ミソニハ何等ノ変化が見エナイ場合ニ腦震盪ト
イフ。腦挫傷ノ症状ハ腦震盪ト同ジデアアルガ、腦ニ一定ノ変化が起
ル。

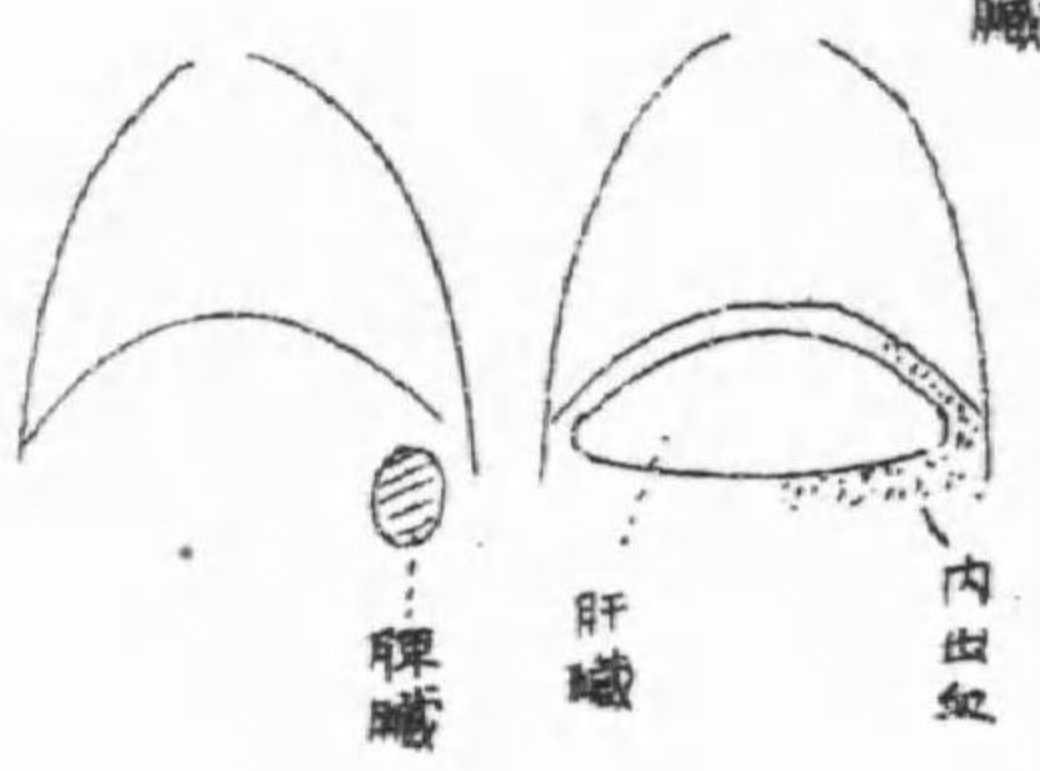


ニナルノミ、然ルニ此ノ圧迫ガ深部ニ及ビ、延髄ニ及ブト、茲ニハ呼吸ノ中樞ト血液ノ中樞トノニツノ重要ナルモノアリ、コノ働キヲ害スルカラ死又ノデアル。

若シモカサ前カラ働クト後ノ處ニ約體十出血点ヲ生ズル。之ヲ後頸系ノ出血点ト云フ。カガ後カラ働クト前頸系ノ出血点ヲ生ズル。カガ上カラ働クト顛頸系ノ出血点ヲ生ズル。
 脳出血 (上圖参照)
 脳膜ノ内側ニ出血スルコトアリ。或ハ外側ニ出血スルコトアリ。即チ硬脳膜内ノ出血又ハ硬脳膜外ノ出血。何故？ 脳出血ニヨル脳圧迫ニヨルナリ。
 脳皮質ハ圧迫サレテ命ニハ差支ナイ。馬座

(e) 内臓ノ破裂

肝臓



肝臓ガ破裂スルト内出血スル
 ヒトク裂ケルト直チニ顔色ガ変ツテ赤ルガ、
 シシデアルト直チニハ変化ガアラハレズ
 脾臓ガマラリマ等ニカ、ツテ大キクナツテル
 コレヲ打ツト破裂シテ死ヌ。

シヨック死

何処デモイ、ガ大キナカラ加ヘルト血圧ガ降下シテ死ヌ。

(1) 即座ニ死ヌ場合

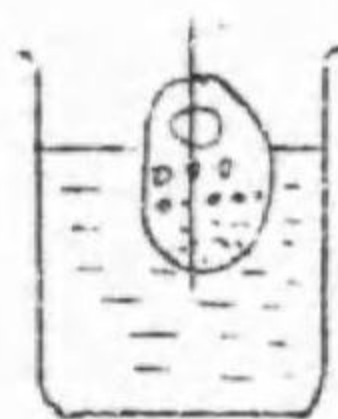
(2) 遷延性ノシヨック死

時間ガタツテカラ死ヌ 即座ニ死ヌノハ、シヨックニヨリ直チ

ニ（反射的ニ）中央神経系統ノ血液循環中極ニ障礙ヲ生ズ。
（時） 遲延性シヨツク死ノ死因ハ難カシイカラ結果ダケ云フト



臓器中デ新陳代謝ガ行ハレルガ、臓器ニ
蛋白ノ分解ガ行ハレル。有毒ノ中間分解
物ハ出来ルダケ早ク無毒ノ粉末分解物ト
シテ血液中ニ出シ腎臓ヨリ外ニ出ス



家兎ヲ殺シテ肺臓ヲトリ、コップノ中ヘ入レテ食塩水ノ中ニ入レル
ソシテ肺臓ヲ断チ分ル、スルト蛋白ノ分解ガ起リ有毒
テ中間分解産物ガ食塩水ノ中ニ出テ来ル。之ノ水ヲ健
全ノ家兎ニ注射スルト血圧降下シテ死ス。



人間ノ皮膚モ一ツノ臓器デアル、今之ニ力ガ働クト血管ガ破レ皮膚
ノ中ニ出来ル蛋白質ノ中間有毒産物ガ血液中ニ
入り死ス。

全身ノ挫解

ベルト、汽車ニヨル死傷等

2. 鋭器ニヨル創傷

ニ通アル。

切創

割創

切創トハ刀デ切ラレタ場合

創縁

割創

斧等ニヨル

鈍器ニヨル創傷ト鋭器ニヨル創傷トノ中間ノ症状ヲ呈ス。

3. 尖器ニヨル創傷

近頃非常ニ多クナツタ

刀デ切ツクノデアルト死ナイコトガアルが突カレタノハ大抵死ス



(1) 刺入口
 内出血が起ルウラデアル。
 刺入口ト創管トヲ区別ス



裂傷ノ創が出来る(政書ニハ片刃又デモ然リトカイテアル)
 無双
 有双
 用器ノ型



長軸ノソノ部位ノ纖維ノ方向ノミニ走ル裂傷ノキズ

(2) 創管

無双ノモノハ纖維ヲキラズニ押ワケテ行クカラ、上カラノゾクト各

層ノ纖維ガ、オノガジソノ特有ノ方向ニ走ル
 有双ノモノハ切レテキル。

4. 銃創

射入口 丸道 射出口

射入口ハ近距離ト遠距離トデチガウ。

近イトソノ周囲ニ彈藥、マケタ所ガアル。

丸道

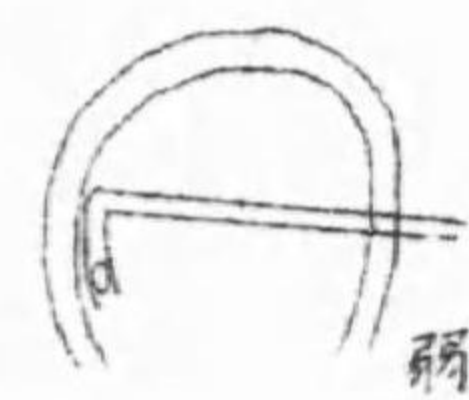
眞直ナ穴デアルガ時ニハ近イト瓦斯ノ膨張ニヨリ



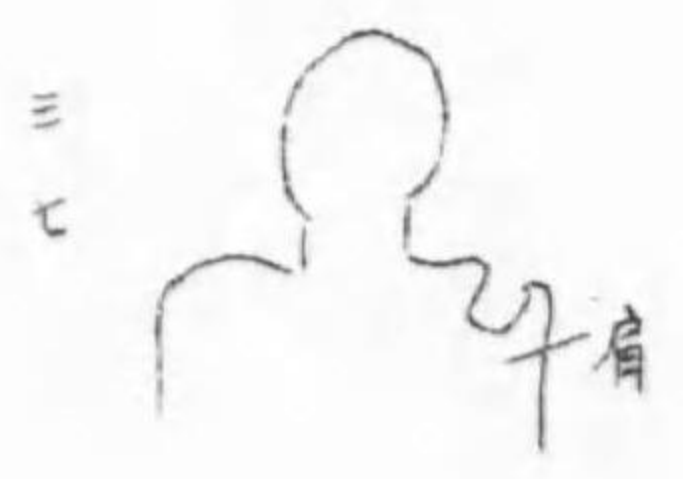
迴旋銃創



頭蓋骨



弱ツタ丸が来ルト



三七

射出口

近い遠いニカ、ワラズ弾ノ創ノミ

遠距離ニアルト、ドチラガ射出口カ分ラミガ大抵射出口ノ方ガ大イ
弾カ骨片等ガアツタリシテマガツタリスルカラ

又筋、脂肪等ガ出テキル。



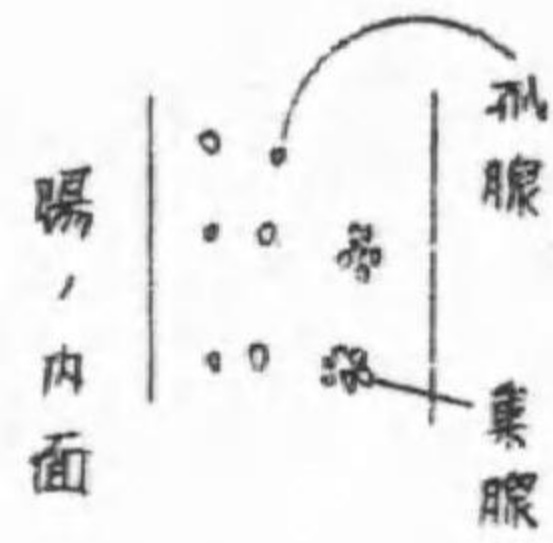
第二節 死因ト創傷トノ關係

- (1) 直接關係ニヨル場合
- (2) 間接關係ニヨル場合

直接關係ニアルモ場合ハ切創即死因、銃創即死因ナリ。
間接關係ニヨル場合ハ輕微ナル創ニ偶々某ニノ原因ガ加ハツタ場合デ
アル。例ヘバ化膿菌等ガ侵入シ膿毒症トナリ死ニ至ル、死因ハ膿毒症

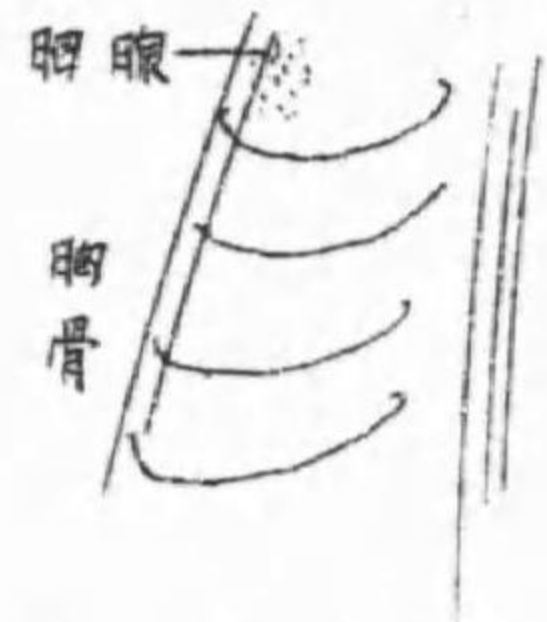
- (3) 死因ト体質トノ關係

膿毒症ハソノ創カラ菌ガ入ツタカラデコノ創傷ハ間接的ニ關係スル。
大ナル外力ガ加ハルトキハ健全ナ者デモ死又ガ小サイ外力デアルト健
全ナモノハ何トモナイガ、或体質ノ人例ヘバ實質臟器ニ脂肪变性ノア
ル人、淋巴胸腺体質ノ人ハ衝カナイデコロリト死スコトガアル。
カ、ル場合ニハソノ僅カナ外力ニ全責任ヲ負ハスコトハ苛酷デアル。
淋巴胸腺体質



淋巴腺

淋巴腺、淋巴器ガ
普通ノ人ヨリ大イ



正常ナ人ノ年令ニ相応シタ胸腺ヨリ
大キイ、廿才位ニナルト收縮シテ
ナクナルガ、カ、ル体質ノ人ニハ残
ツテキル。

心臓

普通人ハ握リコブシ大デアルガ、カ、ル体頂ノ人ハソレヨリ小サイ

血管

又カ、ル体頂ノ人ハ普通人ヨリ細イ

外見カラハ分ラナイ、従ツテ死後解剖シテ見ナケレバ分ラヌ

カ、ル体頂ノ人ハ外力ノミナラズ、疾疾ニ對シテモ弱イ

實質性臓器ニ脂肪変性アル人

鮮カナ赤色デアルガ、脂肪変性ガアルトドンヨリシタ黄色ヲ帯ブ。



四〇

(4) 集合死因

一人ノ人ニ殺人ガ外力ヲ加ヘタ場合トノ人ノ加ヘタ外力ガ死因カヲ明

ニスル必要ガアル。大抵ノ場合ハ分ル。外部ノミナラズ、内部モ解剖シテ検査セネバナラヌ。

時トシテハ皆同ジ程度ノ傷デソノ一ツノミデアツタナラバ死ナカッタデアラウガ、相合シテ死ヲ招来シタ時ニ之ヲ集合死因ト云ヒ、等分ニ責任ヲ分担スル。

第七章 血液ノ検査

兎獸、衣類、手拭等ニ血液ラシキ斑点ガツイテルトキ、ソレガ錆カ、醬油カ血カヲ検査スル。

(1) 可檢ノ斑点ハ血液ナリマ否マ。

(2) 血液ノ種屬ノ決定。

(1) 豫備検査

血液ナラザル斑点ト血液ラシキ斑点トニ分ケル。(番号ヲウツ)

四一

(b) 本試験

(a) 豫備試験ニハ色々ナ方法ガアルガ

(1) 瘵瘡木脂試験 Quajao-probe

瘵瘡木脂ノアルコール溶液(新シキ)ト

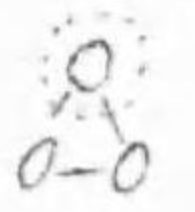
(2) オゾン含有ノてれペン油へ古ケレバ古イホドヨイトヲ作ル。



2月位

0=0

オゾン



↓分解シテ

0=0

酸素

-0-

酸発生機

素

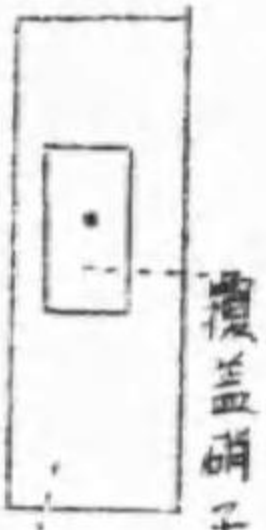
こし紙ヲツシ滲シ斑点ノ上ヲオサヘ、ソレニツツイテ來ルヒソ
レニ前ノニツノ溶液ヲカケルト血液デアルト藍青色トナル、セノ
ニ三ノ物質デモ藍青色ニナレモノアリ。故ニ
藍青色ガオコラナカツタナラバ血液ナラザル斑点、
血液ラシキ斑点、

(b) 本試験

Hemochromogen 試験

(今ハ Hamlin 結晶試験ト云フノハマラス。)
Hemoglobin ハ色々ノ名デヨバレル。

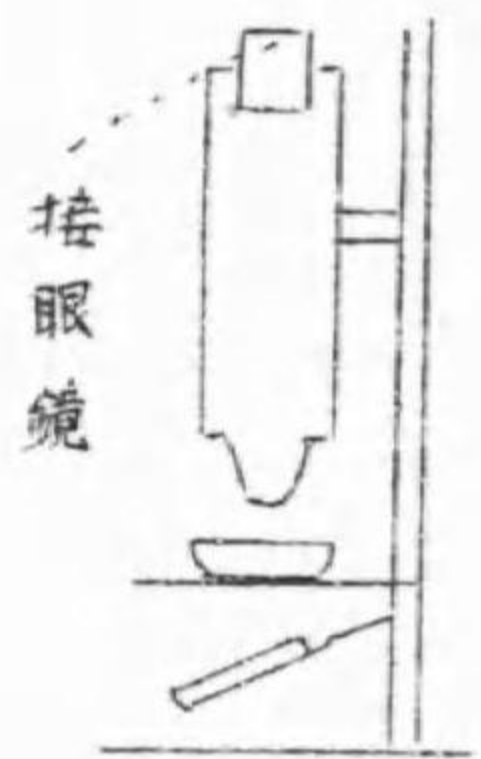
班ノカラ切取ツテ物体硝子ニノセ 36%ノ葡萄糖 / 0 C.C. 10%水
酸化ナトリウム 3 C.C.、ポリゲン 3 C.C.ヲ混合シテ試薬ヲ滴ニ蓄ヘテ
オキ、コノ液ヲ一滴タラシ、覆蓋硝子ヲノセテ顕微鏡ノ下デ見ルト、
真赤ナ Hemochromogen ノ結晶が見エル。



物体硝子



Hamlin 結晶デアルト暗褐色デアルカラ見分ケニクイ。



今度ハ接眼鏡ヲ抜イテ顕微鏡光像鏡ヲ入レテミ
ルトフラウンホルヘルノ光像鏡ニDトEトノニ
本ノ吸收像が見エル。

若シモ検査スル血液ガ比較的新シイ場合、結

晶モ、吸収線モヨク見エル。而シアマリ古クナツマリ、色マナ変化ヲ
 ヲケルト結晶ガ出来ナクナル。ミカシ、二本ノ吸収線ハヨク鮮ル。
 多クノ場合ハ *Hemochromogen* 試験管ヲケテ大抵判断ガツク。又ゴ
 ク稀ニ非常ニ血液ガ変化シタ場合ニハ *Hemochromogen* 試験ヲシテ
 ミテモ結晶ハ勿論吸収線モアラハレヌコトガアル。
 然ルトキハ *Hämatoxylin* トシテ検査スル。
 98%ノ濃硫酸ヲタラス。



顕微光線鏡デミルトCトDトノ間ニ眞黒ナーツノ巾ノ狭イ吸収線ト、
 DトEトノ間ニ色ノ薄イ巾ノ廣イ
 吸収線が見エル。

(2) 血液ノ種属決定

検査スル斑点ガ血液ナルコトガ分ツタ場合ニ血液種属決定ノ原理ハソ
 ノ中ニ入ツテキル蛋白ノ種類ヲ決定スル。モシソノ中ノ蛋白ガ人蛋白
 ナルトキハ人血液ナリト判断スル。

次ニ述ベルノハ現行ノ方法デアル。シカシ、之ハ良クナイ。

新シイ着物等ニツイテルトキハヨイガ、人同ノ着物ニハ人蛋白ガ一パ
 イツイテキル。ソノ上ニツイテルノガ人同ノ血デアレバヨイガ、他ノ
 動物ノ血ガツイテキタトキニ

- (1) 血液ト出ル
- (2) 試験管ニ入レテミルト人蛋白ガアル。
- (3) ソレデ人血液ト云フ結論ガ出ル危険ガアル。

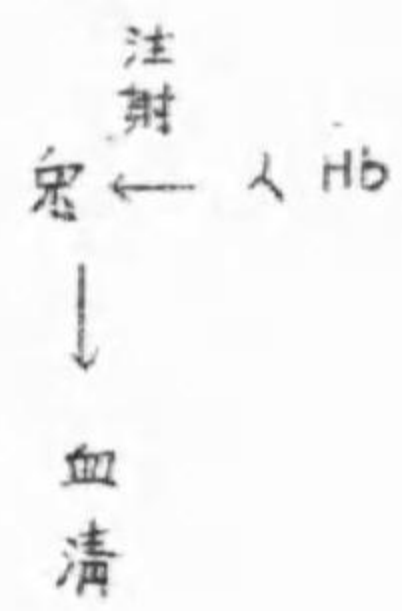


蛋白ニハ種属特异性ト職感特异性トガアル。但シ、水晶体ノ蛋白ニハ
 種属特异性ガナク職感特异性ノミシカナイ。兎ニ人同ノ蛋白溶液ヲ注

射シテ血清ヲトッテモ、ソレニ象龜大ノ水晶体ノ蛋白溶液ヲ加ヘテモ
何レモ白沈カ生ズル、

Hemoglobin ハ種属特异性ト鐵色素特异性ヲ完全ニ有シテキル。
人間ノエドハ他ノ動物ノエドト性質ガ全クチガフ。種属特异性ヲソナ
ヘテキル。

人間ノ蛋白ノ中ニハ色々種類ガアル。人臍、人鼻汁、人精液等、
人間ノエドハ他ノ鐵色素ノ蛋白トチガフ。ソコデ



- + 人 Hb = 血清
- + 人 Hb = 臍
- + 人 Hb = 鼻汁
- + 人 Hb = 精液
- + ...

(附) 人間ノヘモグロビンヲ精製シテ注射シナケレバナラヌガ仲々精製

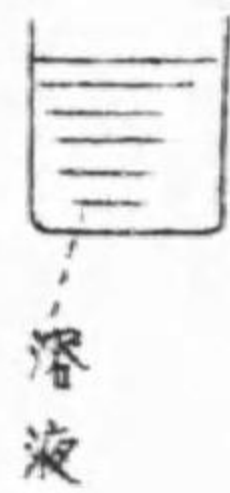
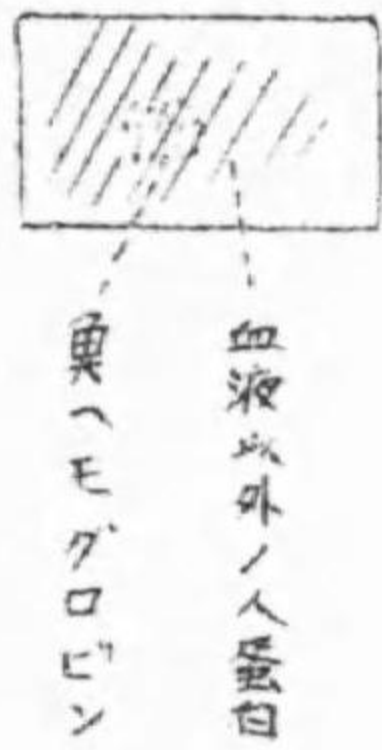
デキヌ。ソレデ免ノ皮膚ニラノリン油ニHb
ヲネツテヌル。



Hbノ透性ニヨリヘモグロビン沈降素ヲ作
ル。

ヘモグロビン沈降血清ヲトル。

手拭ニ人間ノ蛋白ガ沢山ツイテキルトスル。ソレニ他ノ動物ノ血液ガ
ツイテキル。所ガ



透明

血清

+ 魚ヘモグロビン
+ 血液以外ノ人蛋白

故ニ人血ニアラズト云フ
結論ガ出テ判断ヲ誤ラス

第八章 血液ノ型

原理

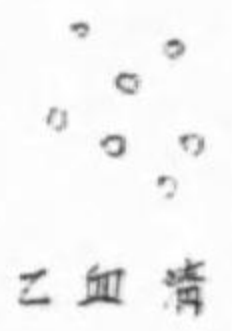
人間ノ血液ノ型ハ

AB B A O

ノ四ニ分レル。何人デモ此ノ何レカニ入ル。此ノ型ハ生レテヨリ死又迄変ルコトハナイ、途中デ変ルコトハ絶対ニ無イ。

然ラバ如何ナル根據ニ基イテ四種ニ分ツカト云フニ、
 哨子ノ小サイモノニ血液ヲ戴セルト血球ハばらくニナツテ居ル。
 今甲ヨリ血液ヲトリテ、乙ノ血清ニ加ヘルト甲ノ血球ハ乙ノ血清ヲ

加ヘレバばらくトナル。丙ノ血清ヲ加ヘルト固ツテ了フ時ガアル。



之ニヨツテ次ノ如キコトが知ラレル。

AB	B	A	O 血球	
	+	+	-	O 血清
	+	-	-	A 血清
	+	-	+	B 血清
	-	-	-	AB 血清

(註)

十印ハ凝集スル

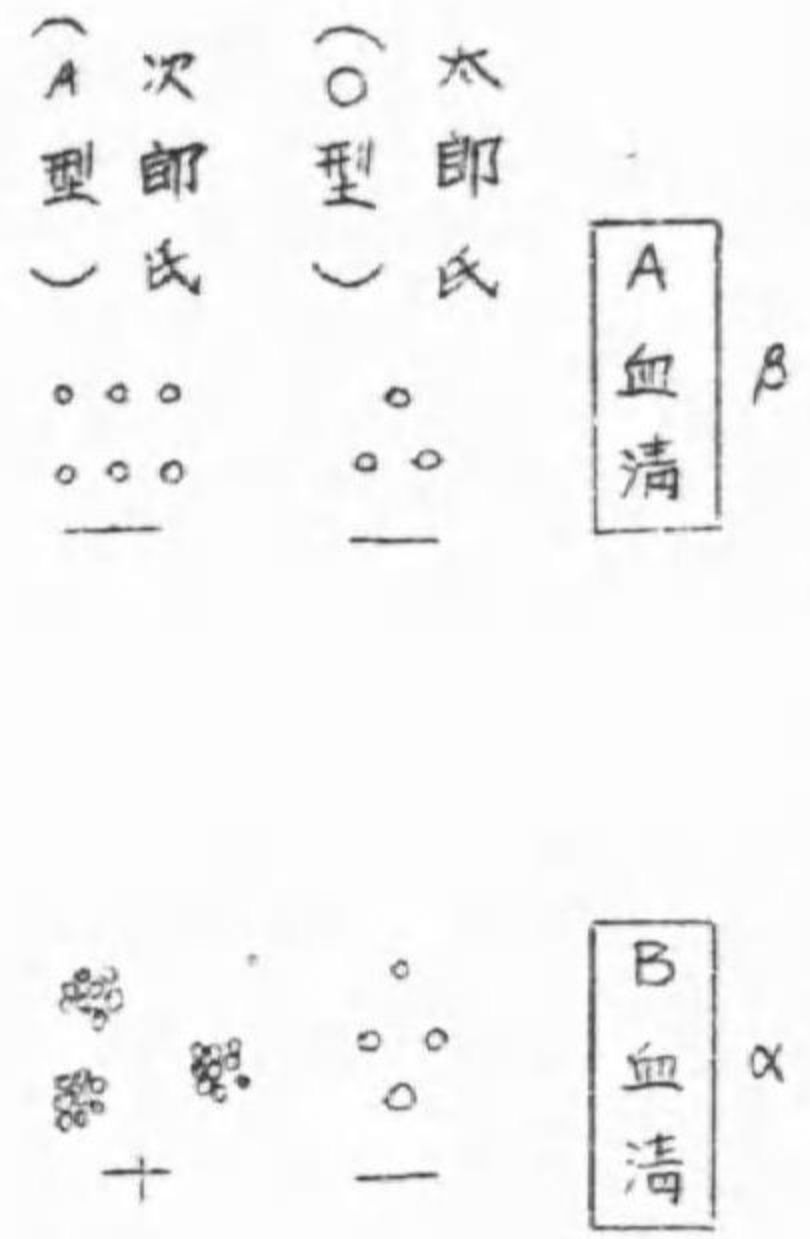
一印ハ凝集シナイ

以上ノ如キ結果ヲ見ルベシ。

輸血スルトキハ型ノ同ジキモノナルコトヲ要スル。型ガ異ルト却ツテ危険デアル。

A 血清(β)ト B 血清(α)(此ノ兩者ヲ標準血清ト稱シ、夫々β、α、ノ名稱ヲ付スル)トノ兩者ヲ冰箱ニ入レテ貯ツテ置キ、型ヲ調べル時ニハ之ヲ混ビテ凝集スルカ否カヲ調べテ、型ヲ決スルデアル。

例ヘバ今、太郎氏ノ血液型ヲ調べルトキニハ二ツノ硝子箱ニ一滴ツツ載セテ置キ、之ニ標準血清ヲ加ヘテ見ルト



(註) 標準血清α、βガ全部無クナツテ了ツテハ困ル。故ニ全部無クナラマ前ニ、B、A、ヲ調べテ、之ヲ餘分ニ減ツテ置ク。

然ラバ凝集スルト否トハ如何ナル理由ニ依ルカ。
「抗原」ト云フモノト「抗体」ト云フモノトガアル。

例ヘバ

〔例 I〕 今、ちぶす患者アリトス(うみどる反應)

今動物ニちぶす菌ヲ加ヘルト、動物ノ Organism ノ中デハ、此ノ異物ヲ尿ニヨリ出サントスル。即チ此ノちぶす菌ノ型ヲ凝シテ尿ヨリ出シテ了ツ。此ノ場合ニ、此ノちぶす菌ヲ稱シテ「抗原」トシテ働クトナシ、動物ノ Organism ノ中デ、此ノ抗原ヲ廢ス働キヲナスモ

ノヲ稱シテ「抗体」ト云フ。

例「I」ニ於テリ菌ナリトス。

子供ノ咽喉ニ此ノ菌ニ加ハレト *Toxin* ト云フ有害ナモノヲ生ズル。

此ノ *Toxin* ニ對スル *Antitoxin* ヲ体中ニ依ルコトガ出來ルガ時同ガ

カナル。然ルニ今 *Toxin* ヲ動物ニ入レルト *Antitoxin* ガ生ズ

ルカラ、此ノ *Antitoxin* ヲ子供ニ入レテ *Toxin* ニ對抗セシメテ

子供ヲ救フノデアル。

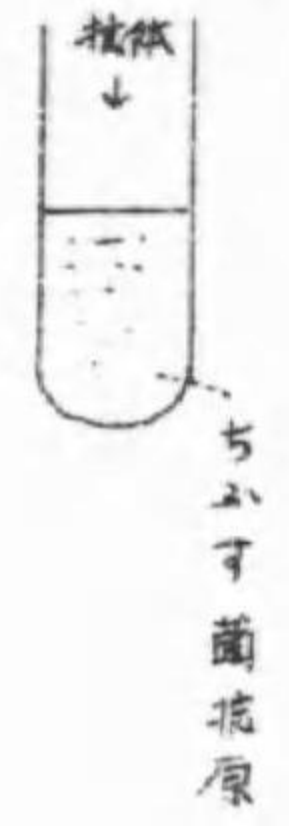
上述ノ如ク動物ニちみす菌ヲ入レルト、之ニ對スル抗体ヲ澤山生ズル。

人間ノ中ニちみす菌ヲ入レルト血清中ニ抗体ヲ生ズル。今、塩水ノ中ニ

培養セルちみす菌ヲ入レル(之ヲ乳劑ト云フ)。此ノ乳劑ノ中ニちみす菌

ヲ免疫ニナッテキル人ノ血清又ハ動物ノ血清ヲ入レルト、乳劑ハ透明ニ

ナル。



ソレハ固マツテ沈澱スルカラデアレ。

之ヲおぬびる反應ト稱シ、之ニヨッテ其ノ人

ガちみす患者デアレカ否カヲ知ル。

以上ノ如ク血清ノ中ニハちみす凝集素ト稱スルモノニシテちみす菌ノ

ミヲ凝集セシメ、他ノ菌ニハ動カナイモノヲ含ム。特定ノモノニミ動

クゴトヲ *Specificisch* ト稱スル。

AB	B	A	O 血球	
(AB)	(B)	(A)	(O)	
+	+	+	-	O 血清
+	+	-	-	A 血清
+	-	+	-	B 血清
-	-	-	-	AB 血清

凝集素

凝集素

抗原・抗体ハ何レモソレソレノ特性ガアツテ、特定ノモノニミ動カヌ。

αβノ凝集素ハβノ凝集素ノミニ動イテαノ凝集素ハβノ抗原ニハ動

カヌ。

應用

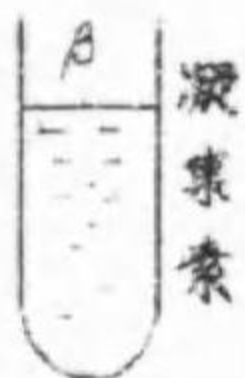
親子鑑別ト犯罪捜査ニ役立つ。

第一、親子鑑別

男親	女親	子女	生じ得る子女
○ × ○	○ ○	○	A, B, AB
A × ○ ○ × A	○ ○	○ × A	B, AB
A × B	○, A, B, AB	不明	
○ × AB A × AB	A × B B × AB	A × B B × AB	O, AB

第二、犯罪ノ鑑別

被疑者ノ着物又ハ刃物ニ血が付イテ付トスル。又ハ被害者ノ物ニ血が付イテ付トスルト、被疑者ノ血ト着物又ハ刃物ノ血ト一致スレバ疑ハ深クナル。反對ノ時ハ薄クナル。刃物又ハ着物等ノ血が古クアツテ付ル時ガアルカラ上述ノ如ク簡單ニ調べルコトハ出来ナイ。然ラバ如何ニスルカ。血液ニハO、A、B、ABノ凝集素ガアル。今標準血清β、αノ血清アルコトヲ前提トスルコトハ前述ノ如シ。



今刃物ニ血が付イテ付トスル場合ニ、
(1) ○ノ時ニハ



之ヲ剥ギ取リテ、之ヲ半分密α、βノモノニ入レル。今入レタモノガO型ナルトキニハα、βノ凝集素ハ何モ

働カズニ居ル。故ニ之ヲ濾過スルト α 、 β ガ殘ツテ居ルコトヲ知ル。之ハ肉眼ニハ見えナイ。見エル様ニスルニハ既知ノBカ
Aカヲ夫々 β カ α カノ中ニ入レルト何レモ固マツテ沈澱スル。

五六

(2)

今度ハAトスルト

β ノ方デハ反應ナシ、故ニ β カ殘ツテ居ル。

α ハAト共ニ凝集シ α ガナクナル。

之ヲ *Sichtbare* ニスルニハ β ノ方ニ既知ノ β 、 α ノ方ニ既知ノ

Aヲ加ヘタラヨイ。之ニヨツテ凝固シテ見エル。

(3)

Bトスルト

β ノ方ニハ β ハ殘ラズ、

α ノ方ニハ α ガ殘ル。

之ヲ *Sichtbare* ニスルニハB、Aヲ加ヘタラヨイ。

(4)

A B ノトキニハ
 α 、 β 何レモ凝集スル。

+	+	+	+	既知 B
-	-	-	-	既知 A
+	-	+	-	AB型
-	+	-	+	B型
+	+	-	-	A型
-	-	+	+	O型

以上ハ「同種血球凝集反應」ト云フ。……
之ニ對シテ「寒冷血球凝集反應」ガアル。

(1) 方ハ室温位ノ時カラ、三七度ノ時ニマルベキデアル。即チ

+	+	+	-	O血清
+	+	-	-	A
+	-	+	-	B
-	-	-	-	AB

五七

(2) 方ハ冰箱ノ中デマルベキデアル。即チ全部凝集スルノデアル。



型ニ關係ナク凝集スルノデアル。故ニ前述ノ血清血球トノ組合ニ依ルモノハ室温↓三々度位ニテ実験シタル所ニシテ冰箱ニテハ反應ガ全ク異ルコトヲ注意。冰箱ノ中デ調べルト如何ナル人ノ血モ皆〇型ト同ジ現象トナル。

第九章 初生児殺害

大人ヲ殺シテモ初生児ヲ殺シテモ、等シク殺人罪ダガ、少シ異ル。何トナレバ、分娩ハ生理的現象ダガ病氣トノ界ニアル。即チ身体的及ビ精



神のニ通常トハ異ル。生ミノ母親ガ身体的及ビ精神的ニ少シ變ニナツテキニ初生児ヲ殺シタ時ハ少シ斟酌サレルノデアル。尚、初生児ノ中デモ、公生児ト私生児トニ依リ、初生児殺害ノ責任ヲ異ニセネバナラヌトノ説アリ。即チ私生児殺害ハ斟酌サレバナラヌトスル説デアル。(羞恥ノ感ノ為メニ殺害スルカラダト云フ)

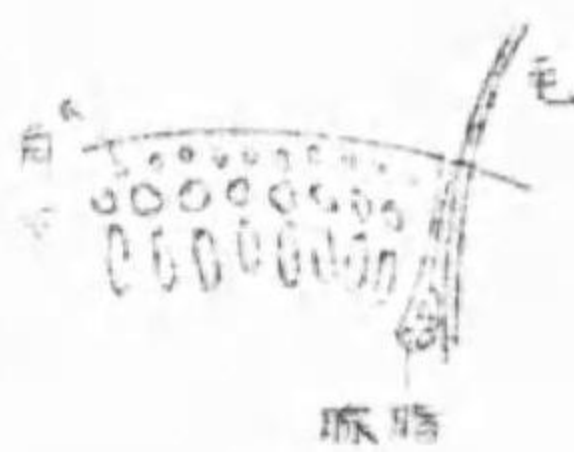
法醫學的見地カラ見ルベキコトハ次ノ如シ、

第一、初生児ナリマ否マ。

産ミ立テナリマ否マ。ソレニハ次ノ事ヲ見レバヨイ。

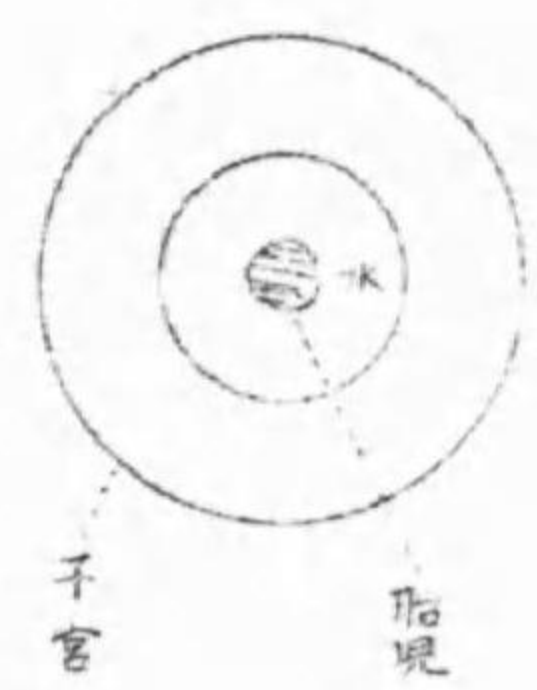
(1) 血液ガ附着シテキルカ否カ。

(2) 胎脂(或ハ胎垢)ガ附着シテ居ルカ否カ?



鮮肉、血管

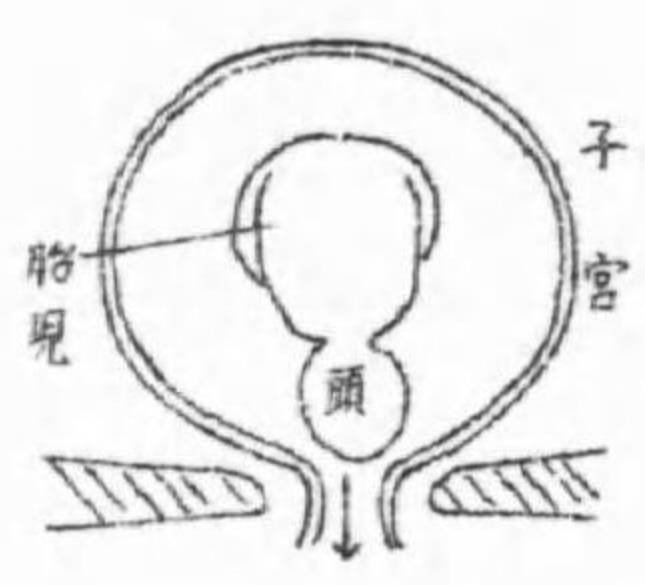
新陳代謝作用ニ依リ日毎ニ変ツテ行キ、
以テ身体ヲ保シテ防ノデアル。



ニハ、口開入ツテ居ル、故ニ胎児、表面ニハ
脂ガ附着スル。之ヲ胎垢ト云フ。之ガ却ツテ
胎児ノ体ヲ水ノ作用カラ防グ作用ヲスル。尚
胎児ハ出生ノ時狭イ道ヲ出ルノニ胎垢アル
タメニスベル。此ニツノ動ガアル。

(3) 臍帯ガ附着セルマ否マ
之ハ出生後ハ頭、腋ノ下、鼠蹊部等ニ附着シテ居ル。

(4) 附着シテ居レバ出生後間エナイコトヲ知ル。
産瘤ガ附着セルマ否マ
之ハ頭ニアルノヲ普通トスル、之ハ何故出来ルカ。



子宮ハ筋肉ノ袋
デアル。筋肉ハ
収縮スルノヲ働
トスル。



産直
(之以上収縮出
来ナイ)

筋肉ガ極度ニ収縮スルト痛ヲ感ズル。出産ノトキハソレ故ニ母ハ非
非ニ苦シム。神ハ母ヲシテ一寸休ムセル。次ニ又収縮ス、ソノ度ニ
胎児ハ段々出口ニ近付ク。出口ニハ骨ガアルカラ胎児ノ頭ニハ産瘤
カ出来ルノデアル(ソレハハノ頭ニ石ヲ投ゲタトキ瘤ガ出来ルノト
同ジ譯デアル)。

(5) 胎便ノ検査

胎便トハ腸ノ中ニアル線便ニシテ、之ハ生後ニ四時間位ヲ全部体



外ニ出ル。ソレ故ニ之ヲ検査スレバ生後何時
間ヲ経過ヒシヤガ解ル。

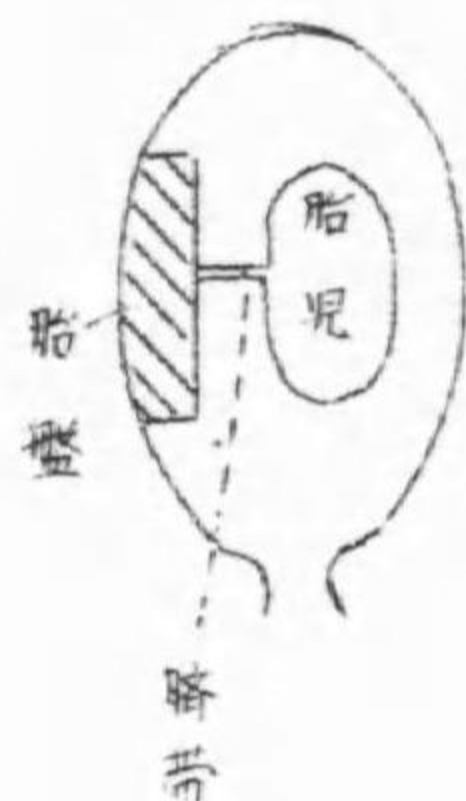
大ニ

羊ニ、生産ナリマ死産ナリマ。

(1) 之ハ肺ノ中ニ空氣ヲ吸フタカ否カヲ見レバワカル。(肺臟浮遊試

驗)

ソノ前ニ、体中ニアル時如何ニシテオレカヲ見ル、



ソレハ胎盤ノ中ニ動脈ト靜脈トガアル。
胎兒ハ酸素ノアル血液ヲ貰ツテ、ソノ出
ス炭酸ハ靜脈ノ中ニ出ス。故ニ母ハ胎兒
ノ分送呼吸シテオレノデアル。之ヲ胎盤
呼吸ト云フ。

出生スルト獨立シテ呼吸シ得ル。此ノ時初メテ呱呱ノ聲ヲ發ゲル。
之ヲ第一ノ呼吸デアル。(反法第一條)

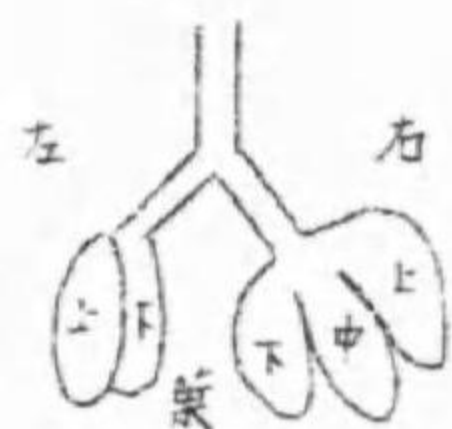
(胎盤ハ後産トシテ出テ來ル。)

故ニ可檢ノ屍体ヲ解剖シテ肺ヲ見、空氣ヲ吸フテオレバ生産デア
ル。然ラザルトキハ死産デアル。

肺ノ中ニ空氣ヲ吸フタカ否カヲ見ルニハ、胎兒ノ肺ハ比重ガ水ヨ
リ重イ。然ルニ空氣ヲ吸フタカ肺ノ比重ハ水ヨリ輕クナル。ソレ故
ニ肺ヲトリテ水中ニ投ジテ沈メバ死産デアリ、浮ベバ生産デアル。

肺臟ノ浮遊試験

持ニ此ノ場合ノ術式ヲ記憶シテ置カネハナラヌ。



- (1) 左右ノ肺全体ヲ水中ニ入レタ時、
浮ブカ沈ムカ其ノ態様ハ如何。
- (2) 右ノ肺全体ヲ水ニ入レテ上述ノ檢
査ヲスル。
- (3) 右ノ各葉ヲ分テ、右ノ上葉ヲ水ニ

入レテ上述ノ検査ヲスル。

大ニ

- (4) 右ノ上乘ヲ細ク切りテ小片ニシテ之ヲ水ニ入レテ、ソノスベテノ小片ガ全部沈ムカ、一部分沈ムカ、トナラガ多イカ等ヲ検査スル。
- (5) ソノ小片ヲ压榨スル。之ハバラバラニシテ、又水中ニ入レル、ソノ場合压榨前ニ浮ンダノガ、压榨後モ依然トシテ浮ブカ、或ハ压榨前ニ浮ンダモノガ压榨後ニ沈ムカ。
- (6) 之ト同ジコトヲ右ノ中葉ニ付テ検査スル。
- (7) 下葉
- (8) 左肺ニ付テモ同ジ検査ヲスル。
- (1) カ、ル術式ヲ行フコトニ依リ知り得ルコトハ之ノ如シ、子供ガ今晚後充分ニ空氣ヲ吸ツタカ、或ハ全ク空氣ヲ吸ハナカッタカ、或ハソノ中間ノ色々ノ態様ガヨクワカル。
- (2) 各肺臟ノ各葉ニ付検査スルコトニヨリ何處ノ部分ニ空氣ガ入ッテキタリ、何處ノ部分ニ空氣ガ入ッテキナイカハ辨ル。

- (3) 假リニ子供ガ死産ダトスルト、空氣ヲ含ンデキナイ。故ニ肺臟ハ水ニ沈ムワケデアルガ、時トシテ子供ガ腐敗シテキルトキハ腐敗ガスノ為ニ死産デモ浮ブコトアリ。故ニ死産ヲ誤リ生産ダトスルコトアリ。然ルニ今ノ方法デヤルト此ノ誤リハナイ。壓搾前ニ浮ンダトスルト、腐敗セルモノハ壓搾ノ際ニ腐敗ガスガ出テ了ラカラ壓搾後ハ沈ム。

(2) 胃腸ノ浮遊試験。

胃腸ニ空氣ヲ嚥下セシヤ否マヲ見ル。水ノ中ニ胃腸ヲ入レルト死産ダト沈ム。生産ノ時ダト浮ク。ソノ態様ニヨリ生後ノ時間ガワカル。

第三、成熟児ナリマ否マ。

体ノ測量ヲスレバワカル。併シ此ノ前ニ、大体ノ様子ヲ見レバ見當ガ付ク。即チ兒デナケレバ、皮下脂肪層ガ成熟シテキナイカラ皮膚ガ緊張シテキナイノデ一寸モ可愛クナイ。成熟児ハ可愛イ。

葉ニニ隣ノ高サハ成熟児デハ体ノ半分ノ所ニアルガ、未成熟デアレ

バアル程取骨縫際ニ近ツク。

芽三ニ、生毛ハ成熟児ダト有トカ上膊トカ外側ニノミアルガ、未成
熟児デアレバアル程生毛ガ澤山生エテナル。

芽四ニ、爪ハ成熟児ダト指先マテ延ビテナルガ未成熟児ハ然ラズ。
併シ確實ナコトヲ知ルニハ測量セズバナラヌ。

芽一、ニ身長ハ成熟児ハ五〇糎 (C.M)

芽二、ニ体重ハ " 三〇〇〇瓦 (g)

芽三、ニ臍帯ノ長サハ " 五〇糎 (C.M)

芽四、胎盤ノ重サハ " 五〇〇〇瓦 (g)

芽五、頭ノ検査

(a) 頭圍ハ 長サ 三四―三五糎 (C.M)

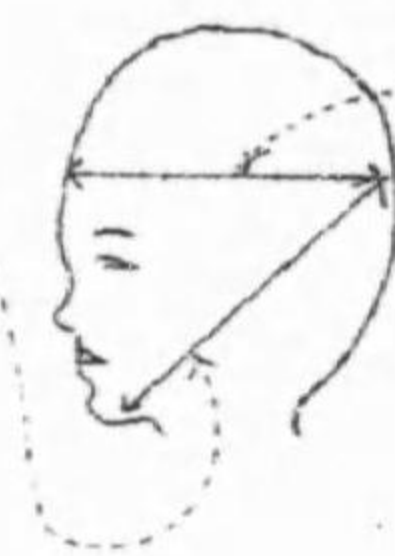
(b) 横徑ハ " 八、五糎 (C.M)



(コクカミノ
間ノ距離)

Diameter biparietalis

c) 縦徑ハ " 一〇・五糎 (C.M)

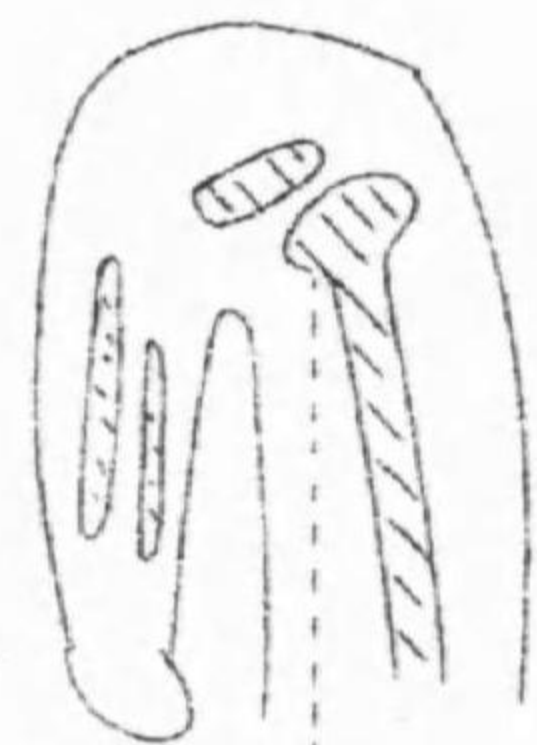


d) 斜徑ハ " 一二・五糎 (C.M)

芽六、ニ臍幅ハ " 七・五糎 (C.M)

(腰ノ幅)

芽七、骨格ノ検査



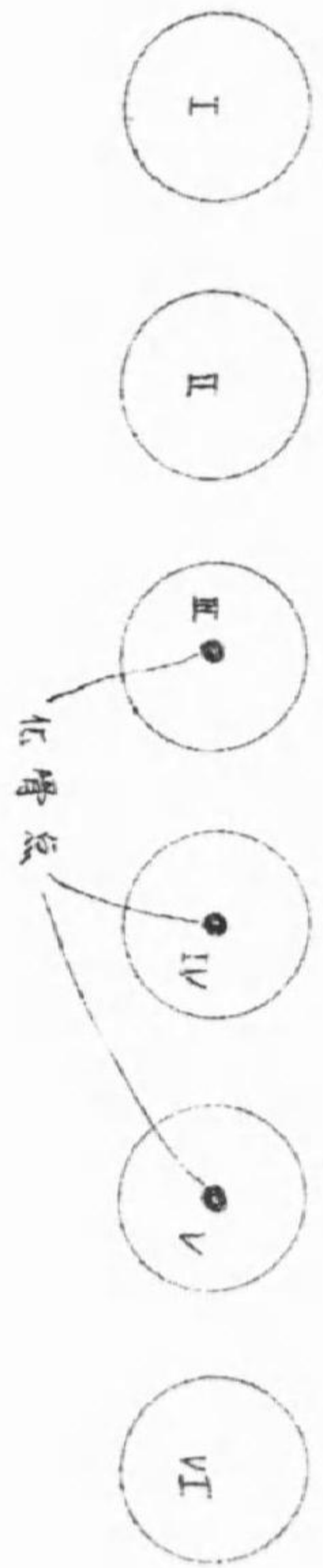
大腿骨ノ下端



化骨点

(軟骨デアルガ九月ニナルト此ノ点ヲ出来テ
トクバマニ大キクソテ全部ガ化骨ヌルニ至ル
デアレ)

大腿骨ノ下端ニ大建骨ノ中軸ニ垂直ニ切ルト半透明、
ル。又之ヲ繰返入。終ニ化骨点ニ迄達スル、而モ之ヲ繰返スト



斯クシテ化骨点ガアレバ此ノ子供ハ九月以上経過セザル、即チ成熟
児ナルコトヲ知ル。

第四、成熟児ナラストセバ何ヶ月位ノ未成熟児ナリヤ。

月数

身長 (c. m.)

1	X	1	-	-	-	1
2	X	2	-	-	-	4
3	X	3	-	-	-	9
4	X	4	-	-	-	16
5	X	5	-	-	-	25
6	X	5	-	-	-	30
7	X	5	-	-	-	35
8	X	5	-	-	-	40
9	X	5	-	-	-	45
10	X	5	-	-	-	50

第五、可檢ノ子供ハ生活能力ヲ有スルヤ否ヤ。

第一ニ畸形ノ有無程度

α、無腦児、羊癡児、ハ生活能力ナシ。

β) チステレンニ一（腎臓が大キクテ呼吸出来ナイ）ハ生活能力ナシ。
 第二ニ疾病、有無程度。

α) 先天性梅毒ノ子ハ白色肺炎デアル。之ハ生活能力ナシ。

β) 胃腸、肝門ノ通路ガ不通ナ点ガアル者ハ生活能力ナシ。

第三ニ成熟ノ程度。

α) 三十週ニ達シナイト、假ニ生キテ生レテモ死スノデアル。生活能力ナシ。

β) 未成熟デモ三十週ヲ越シテキルト生活能力ガアル。

γ) 三十週ニ達シ夕子ハ次ノ如クデアル。

身長………40 cm
 体重………1500—2000 g
 頭暈………450 g



第六 死因

第六 死因

第一ニ分娩前ニ死マモノモアル。(分娩前ノ死)

母体ガ重大ノ疾病、傳染病、負傷等アツタトキノ如ク、犯罪ト無関係ニ死マモノモアルシ、墮胎シタ場合モアル。

第二ニ分娩中ニ死マモノモアル。(分娩中ノ死)

(α) 胎盤呼吸ノ早期中絶

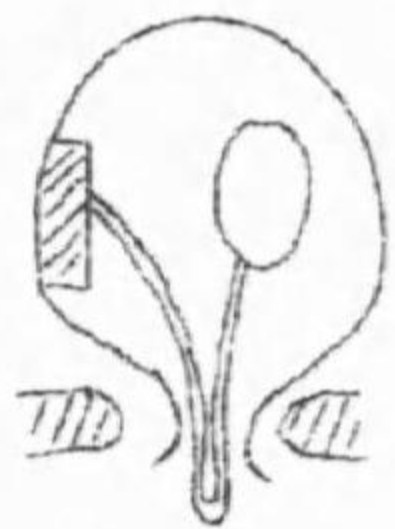
(1) 胎帯ノ纏絡

赤坊ガ体外ニ出ナイ中ニ胎盤ガトレルノデアル。ソレハ血管(臍帯)ガ赤坊ノ体ニ巻付イテ、ソノタメニ血管中ノ血液ガ流れナクナリ、ソノ為ニ赤坊ノ呼吸中樞ガ刺激サレテ働キ出ス。(赤坊ハ胎盤呼吸ヲシテキルノデアルコトハ前述ノ如シ)
 (炭酸ノ過剰、酸素ノ缺乏ノ中ニ呼吸中樞ガ働ク)
 然ルニ子宮内ニハ空氣ナシ。故ニ赤坊ハ溺死スル。ハ血マ水ガ

即チ、胎帯ノ纏絡

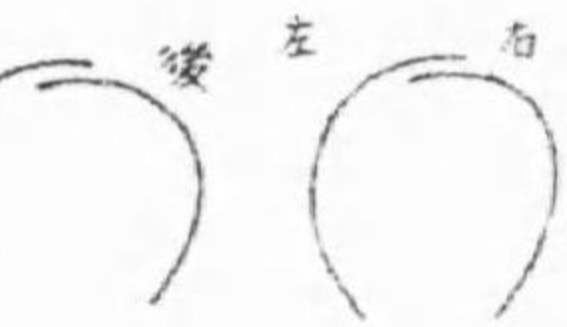


(ロ) 胎帯ノ墜落



(ハ) 頭部ノ過度ノ圧迫

左右臙頂骨ガ重リ合フ。



前頭骨ト後頭骨ガ重リ合フ。

即チ福助頭ヲ福祿壽頭ニシテ産道ヲ通り易クスル。併シ、ソレニ

モ拘ハラズ頭ガ大キクテ出ニクイ。ソレ故ニ胎圧迫ノタメニ死ヌ
コトガアル。

等ニ分娩後ニ死ヌモノアリ。(分娩後ノ死)
自然ニ死ヌ場合ノミヲ述ベル。

(カ) 墜落分娩ナリマヤ。

(イ) 教育ノ程度

(ロ) 胎帯ノ断端ノ検査。



墜落分娩ハ必ズA点カB点カテ必ズ切レ
ル。而シテ断端ガ正銳デアレバ猶更墜落分
娩デハナイ。

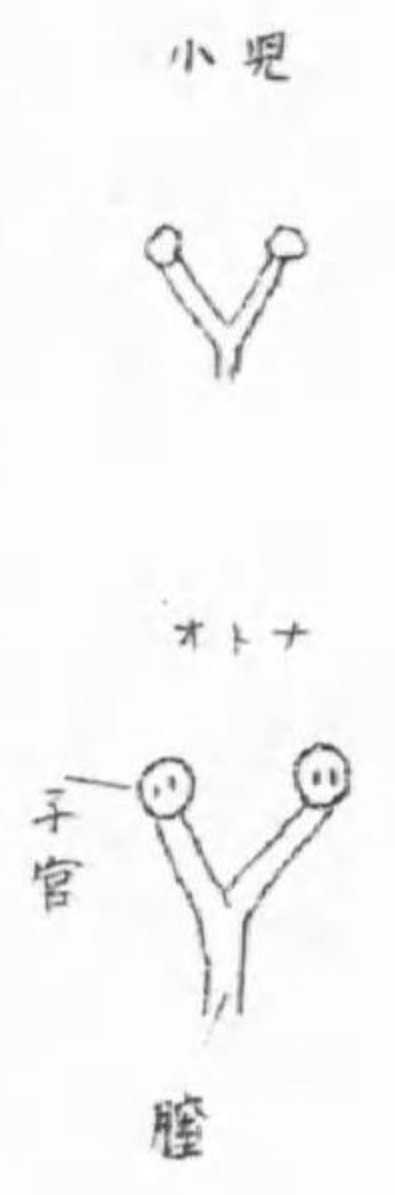
(ハ) 臙壺ノ内容ハ流動性ナリマ固形性ナリマ。若シモ赤坊ノ呼吸
道ノ中ニ便所ノ内容ヲ吸フテキレバ墜落分娩デアルガ、然ラズ
シテ空気が充分ニ入ッテキレバ墜落分娩ニハ非ズ。

(ニ) 子宮縦轉

之ガアレバ墜落分娩ナルコトガ解ル。
 胎帯ヨリノ出血ヲ死又コトモアル。(稀ニアル)

第十章 妊娠論

普通ノ妊娠ダトセハ眞実ヲ云フガ、法医学的ニ妊娠ヲ論定スル時ハセ
 ハ嘘ヲイフカラ、仲又困難デアル。
 従来色バノコトガ云ハレテキタガ、ソレハ無益デアル。
 最モ良イノハ *Bondele-Oschheim* 試験法デアル。
 ソレハ頭ノ中ニアル *Kypopygise-Vorderlappen* ト云フモノハ生殖器ヲ
 發育セシムル *Dotterman* ヲ分泌シテキル。ソレ故ニ、妊娠ノ時ニハ *Dotterman*
 ガ有リ餘ッテ尿トナッテ出ル。ソレ故之ヲ証明スレバヨイ。
 今、廿日齡ノ小児ヲ捕ヘル。ソノ生殖器ハ小サイ。人間ハ子宮ガ一ツ
 デアルガ後ハニアル。



今妊娠者ノ尿ヲ廿日齡ノ小児ニ注射スルト其ノ生殖器(通常六―七
 g.)ハ大度ニ大キクナル(ニ〇g位ニナル)。大人ノ生殖器位ニナル。
 殊ニ卵巣ニ出血点ガ出来ル。(小児ノ卵巣ニハ出血点ハナイ)。
 ソレ故ニ今、茲ニ疑問ノ婦人アリトセバ彼女ヨリ尿ヲトリテ之ヲ幼
 弱ニ廿日齡ニ注射シテ見テ、生殖器ガ大キクナリ殊ニ卵巣ニ出血点ヲ
 見レバ妊娠シテ居ルノデアル。



交接(妊娠)後十五六日頃カラ↓分娩後一週間位ノ間尿ノ中ニ

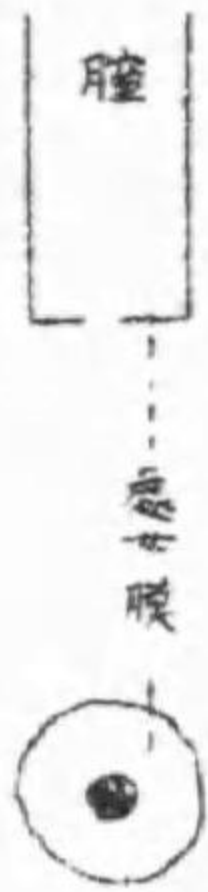
第十一章 性

我國ハ西洋諸國ニ比ベルト君子國デアレカラ男女道德ハ割合ニ良イ、
從ツテ西洋ニハ色々ナ行爲ガアルガ日本ニハ少ナイ。併シ「強姦」ダケ
ハ時マアル。(強姦以外ニ強姦、女性相姦、^(強姦) *Sadismus*, ^(強姦) *Masochismus*
異性ノ附屬品ニヨル性満足、人獸相姦 etc. ガアル)
強姦ノ説明ヲスル。

之ハ合意ナクシテ強姦スル、或ハ年ガ行カナイ異性トハ合意シテモ矢
張リ強姦ニアル。強姦シタトキニ大人ト小兒ニトニ依リ体ニ及ボス変化
ガ大イニ異ル。

大人ダト抵抗シタシルシニ方マニ傷ガ出來テキル。(局部以外ニ)。局
部ニハソウ大シテ変化ハナイ。

反之、少セテハ局部以外ニハ大シテ変化ナク、局部ニハ大ナル変化ガ
アル。即チ處女膜ニ破裂傷ガ出來ル。年令ガ若ケレバ膜ガ破裂シテキ
ル。



尚、花柳病ヲ傳染スル。(殊ニ淋疾ヲ)

ソレ故、強姦サレシヤ否ヤ見ルニハ、大人トツセトニ付テ異ツタ見
方ヲナシ、且ツ花柳病ノ検査ヲナス(加害者ノ方モ花柳病ノ検査ヲナス)
尚、更ニ第一ニ精液ノ有無ヲ検査スル、ソレニハ精虫ノ検査ヲスル。斑
点ヲ食塩水デ軟クシテ檢微鏡デ見ル。

第二ニ化學的ニ検査ヲナス。ソレニハ二通アル。

(1) *Ploence* 検査

沃展、沃展加里液ヲタラシテ



見ルト褐色ノ斑点ヲ見ル。

*

(2) *Barberis* 検査

ピクリン酸ノグリセリン飽和液ヲ滴シテ見ルト眞黃色ノ結晶ヲ見

第十二章 性、決定

半陰陽 (Hermaproditismus) 一ニハ真正、半陰陽ト假性、半陰陽トガ
アル。

真正、半陰陽ハ人間ニハ非常ニ少イ。大抵ハ假性ノ半陰陽デア
ル。

(女性) 卵巢

(男性) 睪丸

両側性ノ真正半陰陽ハ

睪丸	睪丸
卵巢	卵巢

一側性

一方ニ、ミ両性ガアル。

一方ニ睪丸、他方ニ卵巢ガアル。

第一ノ假性、半陰陽ハ睪丸ガアツテ男性 (Masculinus) テアルガ、睪丸ハ元來腹ノ中ニアルノデ、故ク降ツテ來ル。然ルニ睪丸ガ下ヘ降ツテ來ズニ腹ノ中ニ止マツテナルモノガアル。サウスルト睪丸ハ外見ニハナイコトニナル。且ツ陰莖ガ小サイ。又陰囊ガ左右結合セズ。故ニ女ニ見エルノデア
ル。

第二ノ假性ノ半陰陽ハ女性 (Femininus) ニシテ陰核ガ着大テ陰莖ニ見エル。又大陰唇ガ左右固着シテ男ノ睪丸ニ見エル。ソレ故ニ外見上男ニ見エル。

手術ヲシテ見レバワカルガ、手術ヲ待タズトモ、成熟期ニナルト女ハ月經ガアリ、男ハ梅毒ガアルカラ検査出來ル。

(完)

昭和八年十月十五日印刷
同年十月二十日發行

東京市本郷区真砂町三八



編輯兼
發行所
恩
地
久
夫

印刷所
啓
明
社

東京市本郷区真砂町三八

發行所
啓
明
社

電話小石川七八二三

終

